

平成 26 年度

静岡市ものづくり産業振興基本計画
に関する実施状況の報告について

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

平成26年度静岡市ものづくり産業振興基本計画実施状況報告の概要	1
静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	2
1 経緯	2
2 基本計画の概要	2
3 実施状況等	3
(1) 方針毎の実施状況	4
①方針1 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上	4
②方針2 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援	5
③方針3 連携を活かした新たな取組みの推進	7
④方針4 ものづくり産業を育てる環境整備	8
⑤方針5 ものづくり産業への理解促進と情報発信	9
(2) 実施状況の総括	10
5 各種事業の成果目標及び事業実績一覧表	13
6 各事業の進捗管理票	17

平成 26 年度 静岡市ものづくり産業振興基本計画実施状況報告の概要

基本計画の実施状況については、「検討を要する取り組みはあるものの、概ね進捗が図られている」と報告いたしますが、その概要については次に掲げる事項のとおりであります。

1 実施状況報告の根拠

静岡市ものづくり産業振興条例第 8 条第 7 項

市長は、毎年度、基本計画の実施状況を市議会に報告するものとする。

2 実施状況の基本的な捉え方

条例では、基本計画の実施状況を報告の対象としています。基本計画は、「多様な資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を計画目標と定めるとともに、その目標を達成するために、5 つの方針、11 の施策、49 の事業を設け、体系的に構成されています。

今回の実施報告にあたっては、計画の基盤となる事業の進捗状況のみならず、計画全般の動向を捉えるために「方針」の進捗状況を概括することで基本計画の実施状況を取りまとめています。

3 事業区分及び方針の評価

まずは、各事業の進捗状況を把握するために、それぞれの成果目標に対する達成状況を基準として、「A」、「B」、「C」の 3 段階に区分するとともに、成果目標を設けていない事業を「※」とすることで、全ての事業を 4 つに区分しています。

さらに、各事業を方針毎に取りまとめ、その事業の区分結果に基づいて、各方針の進捗状況を「◎」、「○」、「△」、「×」の 4 つで評価しています。

各事業の区分及び各方針の評価については、成果目標を設けていない事業の進捗を含めた 5 つの方針全てにおいて、概ね進捗が図られている状況にあるものと評価しています。

4 基本計画の実施状況

基本計画の実施状況については、計画目標の達成に向けて取り組まれた各方針の評価に基づく中、一部に進捗が図られなかった事業を含めて、「検討を要する取り組みはあるものの、概ね進捗が図られている」とまとめています。

5 各事業の進捗状況

各事業の進捗状況については、報告書 13 頁以降の事業実績一覧表及び各事業の管理票をご参照ください。

平成 26 年度 静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）の実施状況については、静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第 8 条第 7 項の規定に基づき、次に掲げる事項により報告します。

1 経 緯

基本計画については、平成 23 年 3 月、本市のものづくり産業の振興に向けた議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条第 18 条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会（以下「審議会」という。）及び関係機関との連携を図りながら、基本計画の策定に向けて取り組んできました。具体的には、平成 23 年 9 月に審議会へ基本計画策定案の検討を諮問し、その後、パブリックコメントなどを経て、平成 24 年 7 月に「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を計画目標とする基本計画を市長の定例記者会見において、公表・施行し、計画目標の達成に向けて取り組んでいるところであります。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える 5 つの方針と 11 の施策に基づいて、全 49 事業を振り分けるとともに、計画期間における成果目標の設定を含めて体系化を図ったものであります。これは、製造業を中心とする本市ものづくり産業の振興を図るための政策的基盤となるものであります。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第 8 条第 1 項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成 24～26 年度（3 か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	①計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 ②方 針 方針 1 … 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 方針 2 … 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 方針 3 … 連携を活かした新たな取組みの推進 方針 4 … ものづくり産業を育てる環境整備 方針 5 … ものづくり産業への理解促進と情報発信 ③施策事業等 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部 4 課及び教育委員会事務局教育部 1 課の計 5 課が基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、事業が振り分けられた方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努め、同時に進捗管理を行いながら事業を推進してきたところであります。

経済局商工部（4課）	産業振興課、産業政策課、商業労政課、観光・シティプロモーション課
教育委員会事務局教育部（1課）	学校教育課

3 実施状況等

基本計画については、前項のとおり、計画目標の達成に向けて、体系化が図られたものであるため、その実施状況については、一事業の進捗状況を注視するのではなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の進捗状況を包括的に捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、計画目標の大項目である5つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、その中に位置付けられた施策毎の事業に関する進捗状況をもとに、方針毎の実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する進捗状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画の実施状況を包括的に評価しています。

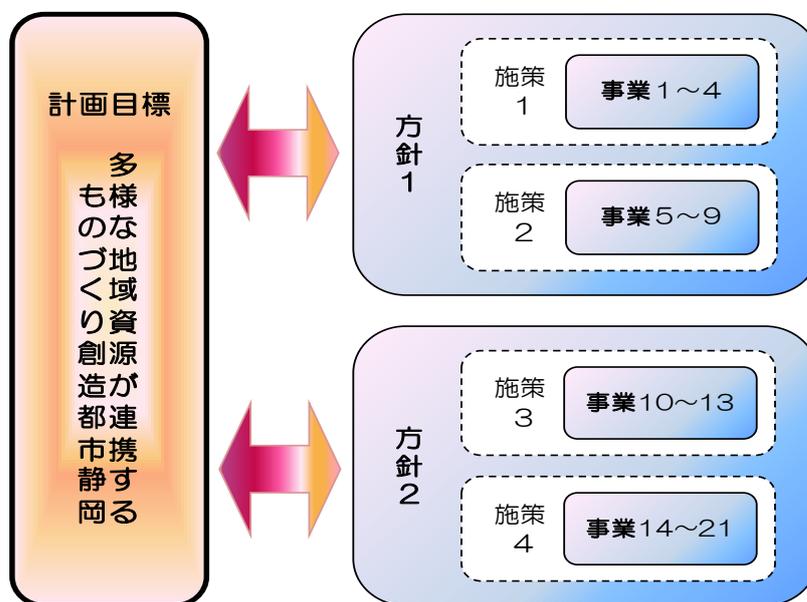


図1 基本計画の体系（方針1及び方針2の抜粋）

このようなことから、次項以下では、各方針の進捗状況を把握するために、表1のとおり、各種事業の実施結果について、AからCまでの3段階による区分に加え、数値目標を設けていない事業の4つに振り分けています。

なお、事業の成果目標に関しては、単年度毎のものと計画期間の3年をベースとするものとの2つに大別しています。そのため、3年間でベースに目標を設定した事業につきましては、3年間の実績を基に事業評価をしています。

事業区分等	成果目標に対する事業の進捗状況等
A	成果目標を上回った事業
B	成果目標をほぼ達成した事業
C	成果目標を下回った事業
※	数値目標を設けていない事業
(留意事項)	1) 成果目標の捉え方 3年の計画期間をベースに目標設定した事業については、3年間の実績を基に進捗状況について評価を実施。 2) 施策の付記 参考まで当該方針を構成する施策を同表の冒頭に記載。

表1 成果目標に対する各種事業の進捗状況等

(1) 方針毎の実施状況

①方針1 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上

方針1では、表2のとおり、成果目標を下回ったものが1事業あるものの、他の5事業においては、成果目標以上、または概ね成果目標達成の進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関しては、比較的順調な事業展開のもとで推移してきたと捉えています。

その他、成果目標を定めていない事業4の理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討事業については、地元の産業界を代表する静岡商工会議所から、理工系大学の誘致等が要望として市に示されたこともあり、事務レベルにおいて、誘致等に向けた基本的考え方の相互確認や、中長期にわたる具体的な取り組みについて協議を行いました。この事業については、本市のものづくり人材の育成及び供給に加え、製造業者の抱える課題等の解決などを念頭に置きつつ、来年度以降も継続課題として取り扱っていきます。また、事業9の技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討事業では、前年度に実施した静岡県職業能力開発協会・静岡商工会議所へのヒアリング結果について検討を重ねた結果、多くの中小製造事業者は本支援事業を必要としていないとの結論に至りました。このことから、平成27年度施行の第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の策定に向けては、中小製造事業者の技術力向上のほか、人材育成に向けた新たな支援策の検討を行いました。

目標を達成した事業では、事業2の(仮)経営者と大学生との縁結び事業において、3年間の参加者数を360人と見込む中、計画期間内で504人の参加者を数え、目標を大きく上回りました。特に平成26年度は、市内開催だけでなく、県西部及び首都圏に開催を広げたことで、参加人数の増加に繋がったと考えられます。

さらに、事業5の人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催事業においては、平成26年度に例年を上回る41回のセミナーを開催したこともあり、3年間の受講者数について目標を上回ることができました。

次いで、事業8のクラフトマンサポート事業の拡充については、独立支援補助事業に関し、目標に達しなかったものの、短期・長期支援については、目標を大きく上回る成果を達成しました。本事業に対する若年層等への認知度は年々高まりを見せているため、短期・長期支援をより多くの独立支援に繋ぐことができるよう対策を検討していきたいと考えています。

構成施策	施策1 地域における人材確保への支援 施策2 技術者、経営者等の能力向上への支援
A	事業2 (仮)経営者と大学生の縁結び事業 事業5 人材育成に係る各種講座・セミナー等の開催 事業6 若手後継者の技術習得支援(伝統工芸技術保存講習会) 事業7 伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進及びPR活動の促進
B	事業1 企業と大学等との就職に関する情報交換の促進 事業8 クラフトマンサポート事業の拡充
C	事業3 定年延長を見越した中高年技術研修の検討 (未達成理由) 市内において、中高年が活動している団体の調査や、関連団体へのヒアリングを行い、支援実施に向けた検討に終始したことから、研修会の開催に向けた準備が整わなかったため。 (改善方法) 関係団体との連携強化に向けた情報共有や協議を進め、事業の方向性を検討していく。
※	事業4 理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討 事業9 技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討

表2 事業実績に基づく方針1の進捗状況区分

②方針2 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援

方針2については、表3のとおり、成果目標を下回ったものが2事業ある一方で、それ以外の事業においては、成果目標以上または概ね成果目標達成の進捗状況にあることから、方針の進捗状況に関して、比較的順調な事業展開のもとで推移していたと捉えています。

その中でも、事業10の若手グループの商品開発支援事業において、技術講習会の開催は年1回の予定となっていました。平成26年度については3回の開催となったほか、他の講習会等についても、計33回の開催を数え、当事業の目標を大幅に上回ることができました。

また、事業11の全国規模等の見本市への出展助成強化事業では、3年間の助成件数について目標の140件を上回る154件の助成を実施することができました。計画期間の3年間において、金融機関を中心に助成制度の周知活動を積極的に実施した結果、目標を上回る結果に

繋がったと考えられます。平成 27 年度からは予算を増額するほか、利用方法を工夫し、より多くの事業者が制度を利用できるよう検討を進めていきます。

さらに、その他の中小企業の新規販路開拓やニーズに基づいた支援や相談事等については、3年間の目標を上回る事業も多く、順調に実施することができたと捉えています。今後も引き続き、企業ニーズの把握に努め、専門家や関連団体等との連携を強化し、より効果的な支援を検討し実施していきます。

構成施策	施策 3 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援 施策 4 経営資源確保のための環境整備
A	事業 10 若手グループの商品開発支援 事業 11 地場産品及び伝統工芸品等の販路開拓推進 事業 12 全国規模等の見本市への出展助成強化 事業 13 中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援 事業 14 マーケティング支援講座の実施 事業 15 専門家による窓口相談 事業 17 専門家の指導による商品企画・開発支援 事業 19 創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施
B	事業 18 起業に向けたビジネスプランの策定等の支援 事業 20 専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充（新商品・特許）
C	事業 16 コンサルティングの実施 （未達成理由）効果的なPRの実施ができなかった。 （改善方法）市から相談者へ積極的に活用を促す。PR強化に取り組む。 事業 21 大学等研究機関への相談機会の拡充 （未達成理由）中小企業のニーズ把握が的確に図られていなかった。 （改善方法）支援機関との連携強化、中小企業のニーズの掘り起しを実施。

表 3 事業実績に基づく方針 2 の進捗状況区分

一方、成果目標を下回った事業 16 のコンサルティングの実施事業であります。平成 26 年度は専門家派遣事業のPRをイベント等で積極的に実施したものの、事業内容が事業者には十分に行き届いておらず、成果目標には届かなかったものと考えています。次年度以降の事業展開に当たっては、支援機関との連携強化等、利用事業者を増加させていく具体的な手立てを引き続き検討していく必要があると考えています。また、事業 21 では、中小企業のニーズ把握が的確に図られていないこともあり、計画期間の成果目標には届きませんでした。次年度以降は、産学連携コーディネーターによる企業訪問や相談を強化し、中小企業のニーズ掘り起こしに力を入れて事業に取り組んでいきます。

このような進捗状況にある方針 2 については、一部に改善を要する事業が見られるものの、多くの事業において、目標以上の順調な進捗が確認されることから、事業者のニーズへの支援に関する方針に沿って、事業展開できたものと考えています。

③方針3 連携を活かした新たな取組みの推進

方針3については、表4のとおり、他の方針と比較して、数値目標が設けられていない事業が多く掲載されています。また、成果目標を設けた事業においては、目標以上の実績を有する事業が多くある一方で、成果目標を下回った事業が確認されない状況にあります。

まず、成果目標以上の実績を達成したもののうち、特に顕著な進捗が見られる事業としては、事業24と事業29が挙げられます。事業24のメーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援事業については、3年間で3件の新商品開発数とする目標に対して、平成26年度2件の実績を加えた結果、3年の計画期間で13件を数えることとなり、進捗率は433.3%に達しました。今後も引き続き、メーカーとクリエイターのマッチングを進めてまいります。

構成施策	施策5 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援 施策6 研究開発や事業化等に関する支援
A	事業22 産学官交流事業の推進 事業24 メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援 事業28 駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進 事業29 アーティストとのコラボレーション支援推進 事業31 地域課題に係る産学共同研究への支援 事業35 ものづくり先進都市等に関する調査研究
B	—
C	—
※	事業23 異業種交流事業の推進 事業25 農商工連携の推進 事業26 フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進 事業27 地域結集型研究開発プロジェクトの推進 事業30 新産業開発振興機構の活用に関する検討 事業32 大学等研究成果の技術移転の推進 事業33 産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討 事業34 地域間競争に臨む戦略的方策等の検討

表4 事業実績に基づく方針3の進捗状況区分

事業29のアーティストとのコラボレーション支援推進事業について、平成26年度は、これまでの2か年事業から単年度事業に方針を変更し、単年度で30点の新商品開発に取り組みました。さらに、首都圏における見本市や地元百貨店に出展するなど、販路開拓支援を継続的に実施しました。今後も商品のマーケットへの流通化を促進させるため、販路開拓効果の高い首都圏の見本市出展を継続的に実施したいと考えています。

成果目標を達成したその他の事業についても、関連団体との連携を活かした新たな取組みに向けて、順調に支援等を実施できたと捉えていますが、次年度以降は、より具体的な成果が

得られるように事業内容の改善を図っていきます。

一方、数値目標が設けられていない事業に関しては、事業の成果創出に向けて、異業種企業交流会や技術相談会のほか、セミナー等を開催するなど、関係機関等との連携や調整を図りながら進捗が図られました。こちらについても、次年度以降は、実施された事業の成果が具体的に得られるに事業内容の検討及び改善を行っていきます。

これらの進捗状況を受けた方針3の進捗状況については、今後、更なる進展が望まれる事業が多く見受けられる中、多くの事業において、成果目標以上の進捗が確認されることから、連携を活かした新たな取組みを推進させる方針のもとで、更なる事業の進捗を図っていきたいと考えています。

④方針4 ものづくり産業を育てる環境整備

方針4に掲げる事業については、表5のとおり、事業数そのものが少ない中、数値目標が設けられているものが1事業、その他2事業に数値目標が設定されていない状況にあります。

成果目標を掲げる事業36の企業立地の推進に関しては、積極的な企業訪問に取組むとともに、各種情報や助成制度の情報提供を実施したことから、新規企業立地の年間目標件数14件に対して、17件の立地に成功し、進捗率121.4%を達成しています。また、今後は本市の特性及び企業ニーズに対応した補助拡充の検討を進めていきます。

構成施策	施策7 企業の誘致及び市内留置の促進 施策8 情報の窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備 施策9 災害発生後における事業の継続等に向けた支援
A	事業36 企業立地の推進
B	—
C	—
※	事業37 国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援 事業38 中小企業の事業継続計画策定に関する支援

表5 事業実績に基づく方針4の進捗状況区分

その他2事業の内、事業37の国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援事業については、前年度に引き続き、市産学交流センター及び清水産業・情報プラザのホームページ等を活用した情報提供をはじめ、月2回のメルマガ配信やFacebook等による情報発信を行いました。また、事業38の中小企業の事業継続計画策定に関する支援事業については、BCPに関する専門家の派遣を2件実施しました。その内、清水産業・情報プラザの製造現場改善支援事業において、BCP策定の支援コースの利用がなかったため、今後は、前年度同様に事業メニューの周知に努めていきます。

このようなことから、方針4の進捗状況については、成果目標以上の事業が確認されたこ

とに加え、情報提供や普及啓発にも取り組むことができ、ものづくり産業の環境整備に関する方針のもとで、事業の進捗が図られたと捉えています。

⑤方針5 ものづくり産業への理解促進と情報発信

方針5では、表6のとおり、成果目標を下回ったものが2事業ある一方で、それ以外の事業では、順調に事業展開が図られ、成果目標を達成した状況にあります。

事業39におけるスペシャリスト派遣事業については、平成24年度をもって事業終了となりましたが、①民間講師の活用、②職場体験学習の全校実施、③職場体験学習受入事業所掲載事業数に関する事業については、成果目標を達成しております。

構成施策	施策10 ものづくり産業と教育機関の連携強化 施策11 ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進
A	事業39 次世代育成プロジェクト事業 事業41 高校生のインターンシップ事業 事業44 経済セミナー等の開催 事業46 首都圏におけるプロモーションの強化（ホビーのまち） 事業47 静岡市ブランド認証制度の拡充 事業48 市民向けものづくり体験・学習イベントの開催
B	—
C	事業45 首都圏におけるプロモーションの強化（特産品東京展示会） （未達成理由）例年開催の展示会以外に、首都圏PRの機会を設けることができなかったため。 （改善方法等）来年度以降も新宿駅西口広場での展示会を続けていくとともに、市内地場製品のPRに適した場所を調査・検討する。 事業49 ものづくり現場企業見学会の開催 （未達成理由）見学を希望する企業との協議の中で、見学者の受け入れ人数や時間等の調整が難しく、見学会の開催が1件に止まってしまった （改善方法等）静岡商工会議所製造業部会と連携を図り、受入企業の選定について協議を重ねていく
※	事業40 こどもクリエイティブタウンの整備（平成25年1月開館） 事業42 体験型観光プログラムの開発と誘客の推進 事業43 産業観光等のニューツーリズムの推進

表6 事業実績に基づく方針5の進捗状況区分

また、事業41 高校生のインターンシップ事業については、前年度同様、インターンシップの学生と受け入れ企業の双方に対するアンケートを実施しました。これは、自己評価と他者評価を比較する方法を取り入れ、それらをインターンシップの学生にフィードバックすることで、就業意識の向上に繋げることができたと考えています。成果目標については、3年で

90人参加の成果目標に対して、3年間で283人が参加したことで、目標を大きく上回る実績をあげることができました。さらに、事業46の首都圏におけるプロモーションの強化（ホビーのまち）事業については、平成26年度から新たに、東京丸の内KITTE地下1階において、5月と11月に「ホビーのまち静岡」のPR活動や、5月開催の静岡ホビーショー・12月開催のクリスマスフェスタ静岡等のイベントPR活動を試験的に実施しました。期間中は、多数の来場者に「ホビーのまち静岡」を周知できたことから、次年度以降も首都圏におけるPR活動の強化に努めていきます。

数値目標を設けていない事業の内、事業42の体験型観光プログラムの開発と誘客の推進事業では、市と市おき体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会の共同で、国内外へ教育旅行の誘致活動を実施しました。今後は、中京圏に対し誘致活動を実施するほか、引き続き首都圏等の学校に対して誘致活動を実施していきます。

一方、事業45首都圏におけるプロモーションの強化事業では、本市特産品のPR活動の機会が、例年開催している「静岡市の特産品 東京展示会」の1回に終わり、成果目標を下回ったため、今後は市内特産品のPRに適した会場の調査・検討を実施し、効果的なPR活動に努めていきます。また、成果目標を下回った事業49ものづくり現場企業見学会の開催について、期間内の目標数には達しなかったものの、前年を上回る参加者があり、市民の関心は若干ではあるものの、高まりを見せていると考えられます。今後は、事業として取り組むのではなく、市民からの問い合わせ対応の充実を図り、現場見学会というツールで市民と企業を円滑にマッチングさせられるよう取り組んでいきます。

これらのことに基づく方針5の進捗状況については、成果目標を下回った事業が見られるものの、成果目標以上の実績を有する事業が多く確認されるため、ものづくり産業への理解促進などの方針のもとで、事業の進捗が図られたと捉えています。

(2) 3年間（平成24～26年度）の基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関して、計画目標を支える重要な方針レベルにおいては、表7の状況から、3年間の計画期間において、5つの方針で概ね進捗が図られたと考えられます。

続いて、事業レベルの進捗状況からは、目標の達成基準となるA（25事業）及びB（4事業）に該当するものが、全49事業の59.2%を占める結果となっています。その中でも、成果目標を設けた事業だけを見た場合は85.3%を占め、基本計画策定時に定めた3年間の成果目標を概ね達成できたと捉えています。また、成果目標を設けていない事業については、各種セミナーの開催などを通じて、中小製造事業者等に対する情報提供などの支援展開が進められており、それぞれの方針に沿って進捗が図られました。前年度との比較では、A評価の事業が、前年の21事業から4事業増加しているとともに、未達成であるC評価の事業についても1事業増加となっています。これは、平成26年度について事業を順調に実施することができた一方で、基本計画を取組むに当たり、新たな課題が発見できたと捉えています。これらの課題については、次年度以降、事業の見直しも含めて対応を図っていきます。

これらのことから、基本計画全般に当たっては、図2のとおり、計画目標の「多様な地域

資源が連携するものづくり創造都市「静岡」に向けて、各種の事業成果を創出しながら、順調かつ着実に実施されてきたと考えています。

今後は、3年間のものでづくり基本計画の実施によって明らかとなった成果や課題について、分析・検討を行うとともに、その結果を平成 27 年度施行の第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画に活かしていきます。こうした個別事業の結果の反映が、本市ものづくり産業の振興を図るための効果的な取組みの一つと捉えているため、粛々と事業の再構築等の検討を進めていきます。

該当事業数 0 内は平成 25 年度

方針区分	事業区分等	該当事業数	方針別 (%)	4区分 (注1)	方針別進捗評価	事業区分別	該当事業数	事業別 (%)	3区分 (注2)	
方針 1	A	4 (4)	44.4	66.6	○	A	25	51.0	59.2	
	B	2 (1)	22.2							
	C	1 (2)	11.1							
	※	2 (2)	22.2							
	小計	(9)								
方針 2	A	8 (7)	66.7	83.4	○	B	4	8.2		
	B	2 (4)	16.7							
	C	2 (1)	16.7							
	小計	(12)								
方針 3	A	6 (4)	42.9	42.9	○					
	B	0 (2)	0							
	C	0 (0)	0							
	※	8 (8)	57.1							
	小計	(14)								
方針 4	A	1 (1)	33.3	33.3	○	C	5	10.2	10.2	
	B	0 (0)	0	0						
	C	0 (0)	0	0						
	※	2 (2)	66.7	66.7						
	小計	(3)								
方針 5	A	6 (5)	54.5	54.5	○	※	15	30.6	30.6	
	B	0 (2)	0							
	C	2 (1)	18.2							18.2
	※	3 (3)	27.3							27.3
	小計	(11)								
事業数計		49	—		—	—	49	—	—	
各方針の進捗状況に対する総合的な評価		◎ : 十分に進捗が図られている ○ : 概ね進捗が図られている △ : 進捗が図られていない × : 全く進捗が図られていない								

注1) 各方針の事業に関して、成果目標以上とその他により事業を区分しています。
 注2) 3区分による表記は、全49事業を成果目標以上とその他によりを区分しています。
 注3) 方針別の割合について、必ずしも100%にならない項目もあります。

表7 方針別の進捗評価及び事業区分別の進捗状況

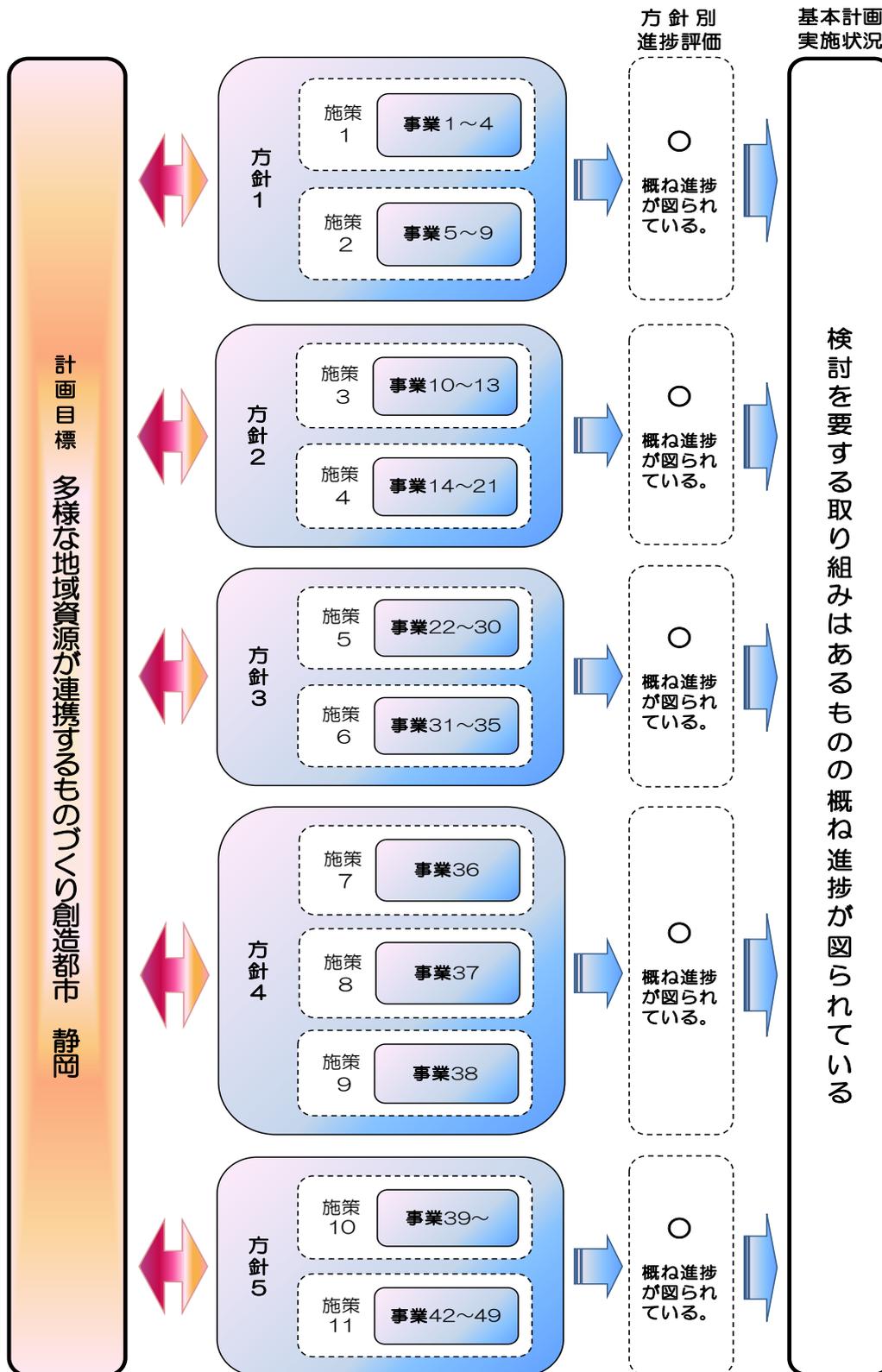


図2 基本計画の方針別進捗評価に基づく実施状況

(報告書添付資料)

■各事業の成果目標及び

事業実績一覧表 (P13~16)

■各事業進捗管理票 (P17~67)

各事業の成果目標及び事業実績一覧表

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成26年度進捗状況 (H24～26累計、または単年度実績)	事業 区分
(計画目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上			
(施策1) 地域における人材確保への支援			
(事業1) 企業と大学等との就職に関する情報 交換の促進	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年	参加者 大学等 162校/3年 90.0% 企業等 180社/3年 75.0%	B
(事業2) (仮) 経営者と大学生との縁結び事業 の推進	参加者 360人/3年	参加者 504人/3年 140.0%	A
◆ (事業3) 定年延長を見越した中高年技術研修 の検討	参加者 30人/3年	参加者 0人(0)/3年 ※市内各関連団体と連携し、効果 的な支援の検討を行った。	C
◆ (事業4) 理工系大学の誘致及び市内の既存大 学における工学部新設の検討	3年間検討し、関係機関等 との協議を含めた報告書を作成	報告書作成なし ※中長期にわたる具体的な取組などを協議 し、今後も継続課題として取り扱う。	※
(施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援			
(事業5) 人材育成に係る各種講座・セミナー 等の開催	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年	開催回数 111回/3年 185.0% 受講者数 4,635人/3年 103.0%	A
(事業6) 若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)	受講生30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、 拭漆の5部門に関する講座)	受講者数 38人/年 123.3%	A
◆ (事業7) 伝統工芸技術士士の指定及び顕彰の 推進・PR活動の促進	平成26年度までに2名指定 (現在48人) 展示会等 15回/3年	顕彰者数 2人/3年 100.0% 展示会等 21回/3年 140.0%	A
◆ (事業8) クラフトマンサポート事業の拡充	短期支援6人/3年、長期支援9人/ 3年、独立支援3人/3年(各人数は延 べ) ※長期支援は期間拡充	短期支援 8人/3年 133.3% 長期支援 7人/3年 77.8% 独立支援 2人/3年 66.7%	B
◆ (事業9) 技能検定の受験及び技能五輪への参 加等に向けた支援の検討	補助金等交付要綱などの支援 制度の整備	第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画 掲載に向け、新たな支援策の検討を行っ た。	※
(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援			
(施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援			
(事業10) 若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)	技術講習会1回/年 講演会等5回/年 (新商品開発事業の推進等)	技術講習会 3回/年 300.0% 講演会等 33回/年 660.0%	A
(事業11) 地場産品及び伝統工芸品等の販路 開拓推進	各種展示販売イベント 50回/年(駿府楽市や駿府匠 宿のギャラリー等)	開催回数 50/年 100.0%	A
◆ (事業12) 全国規模等の見本市への出展助成 強化	助成件数140件/3年 (1社当たり、国内外 各1回の計2回/年に強化)	助成件数 154件/3年 110.0%	A
◆ (事業13) 中小企業の新規市場開拓・新分野進 出への支援(情報発信・ビジネスマ ッチングの機会提供)	支援事業への参加企業数 30社 新規顧客開拓件数 6件 新分野進出・業務転換企業数 3社	参加企業数 89社/3年 296.7% 開拓件数 6社/3年 100.0% 新分野進出・業務転換企業数 13社/3年 433.3%	A

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成26年度進捗状況 (H24～26累計、または単年度実績)	事業区分
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援			
(施策4) 経営資源確保のための環境整備			
(事業14) マーケティング支援講座の実施	開催回数 36回/3年 受講者数 2,100人/3年 (再掲 事業5内数)	開催回数 37回/3年 103.8% 受講者数 2,676人/3年 127.4%	A
(事業15) 専門家による窓口相談	相談件数 900件/3年	相談件数 1,494件/3年 166.0%	A
(事業16) コンサルティングの実施	派遣回数 660件/3件	派遣回数 354件/3年 53.6%	C
(事業17) 専門家の指導による商品企画・開発支援	支援プロジェクト数 3件/3年	支援プロジェクト数 3件/3年 100.0%	A
(事業18) 起業に向けたビジネスプラン策定等の支援	応募件数 80件/年	応募件数 74件/年 92.5%	B
(事業19) 創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施	相談件数 1,200件/3年	相談件数 3,295件/3年 274.6%	A
◆(事業20) 専門家の指導等による商品企画・開発支援拡充(新商品・特許)	新商品助成 12件/3年 産業財産権 66件/3年 (対象範囲を拡充)	新商品助成 10件/3年 83.3% 産業財産権 87件/3年 138.1%	B
◆(事業21) 大学等研究機関への相談機会の拡充	相談機会 6回/3年	相談機会 3回/3年 50.0%	C
(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進			
(施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援			
(事業22) 産学官交流事業の推進	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の実施	交流会開催数 24回/3年 114.3%	A
(事業23) 異業種交流事業の推進	異業種交流を推進する団体への助成	※講演会等の開催 開催数 30回 参加者数 858人	※
(事業24) メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援	マッチングによる新商品 開発権数 3件/3年	新商品開発件数 13件/3年 433.3%	A
(事業25) 農商工連携の推進	農商工連携による商品開発への支援	※国の事業認定につながる事業体の掘り起こし 4者	※
(事業26) フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進	プロジェクトの推進	※セミナー実施 4回 技術相談会及び マーケティング相談会 5回 研究施設見学会 1回	※

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成26年度進捗状況 (H24～26累計、または単年度実績)	事業区分
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進			
(施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援			
(事業27) 地域結集型研究開発プログラムの推進	プログラムの推進	※研修開発プログラム終了 (平成25年12月まで)	※
(事業28) 駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進	事業化件数 3件/3年	事業化件数 3件/3年 100.0%	A
(事業29) アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)	開発点数 平成24～25年度 20点 (平成26～27年度 20点)	開発件数 平成26年度 30点 300.0% ※平成26年度から単年度事業	A
◆(事業30) 新産業開発振興機構の活用に関する検討	新産業開発振興機構の活用の推進	産学官交流会の開催等、新事業創出のきっかけを提供する事業を実施	※
(施策6) 研究開発や事業化等に関する支援			
(事業31) 地域課題に係る産学共同研究への支援	産学共同研究数 15件/3年	産学共同研究数 18件/3年 120.0%	A
(事業32) 大学等研究成果の技術移転の推進	技術移転機関への助成	※マッチング会の実施 2回/年	※
◆(事業33) 産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成	報告書の作成はなし ※本市製造業に関する将来動向に関し、検討を実施し、引き続き検討事項として取り扱う。	※
◆(事業34) 地域間競争に臨む戦略的方策等の検討	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成	第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の策定。	※
◆(事業35) ものづくり先進都市等に関する調査研究	3都市/3年 (調査研究報告書の作成)	調査都市数 3都市/3年 100.0% (H26 川崎市)	A
(方針4) ものづくり産業を育てる環境整備			
(施策7) 企業の誘致及び市内留置の促進			
(事業36) 企業立地の推進	新規企業立地件数 14件/年 (企業立地戦略指針) 平成20～24年度 70件/5年	新規企業立地件数 17件/年 121.4%	A
(施策8) 情報と窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備			
(事業37) 国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援	市産業支援施設ホームページ等における情報提供の推進	前年度に引き続き産学交流センター及び清水産業・情報プラザのホームページ等の活用を図り、情報提供を実施。	※
(施策9) 災害発生後における事業の継続等に向けた支援			
◆(事業38) 中小企業の事業継続計画策定に関する支援	情報提供、講座等の実施	※BCPに関する専門家派遣 2件実施 BCP研究会定例会やセミナーに出席した 計3回	※

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

目標、方針、施策、事業	各事業の成果目標	平成26年度進捗状況 (H24～26累計、または単年度実績)	事業区分
(目標) 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡			
(方針5) ものづくり産業への理解促進と情報発信			
(施策10)ものづくり産業と教育機関の連携強化			
(事業39) 次世代育成プロジェクト事業	①スペシャリスト派遣事業60件以上 (平成24年度をもって事業終了) ②民間講師活用400人以上 (2,100人以上) ③連続3日間以上の職場体験学習の 全校実施 ④職場体験学習受入事業所リスト 掲載事業所数150事業所(新規登 録3事業所以上)	② 462件/年 115.5% ③ 43校/年 100.0% ④ 199事業所/年 132.7% (新規登録15事業所)	A
(事業40) こどもクリエイティブタウンの整備	平成25年1月開館 (指定管理者による運営)	—	※
(事業41) 高校生のインターンシップ事業	参加者 90人/3年	参加者数 283人/3年 314.4%	A
(施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進			
(事業42) 体験型観光プログラムの開発と 誘客の推進	首都圏や海外からの教育旅行 の誘致推進	※訪日教育旅行誘致件数 12件 体験プログラム実施数 4,610件 (H22～26)	※
(事業43) 産業観光等のニューツーリズム の推進	関係団体等との連携強化による 体験プログラムの開発及び充実	前年度に引き続き静岡県中部地区観光協議 会において様々なテーマ別観光メニューの 開発を検討した。	※
(事業44) 経済セミナー等の開催	セミナー等開催数 9回/3年	セミナー等開催数 13回/3年 144.4%	A
◆(事業45) 首都圏におけるプロモーション の強化(地場産品東京展示会)	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブラ ンドの創出・認知度の強化	首都圏展示会実施回数 3回/3年 50.0%	C
◆(事業46) 首都圏におけるプロモーション の強化(ホビーのまち)	PR事業の強化 3回/3年	PR事業 4回/3年 133.3%	A
◆(事業47) 静岡市ブランド認証制度の拡充	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充	認証品数 24品/2年 120.0% 展示即売会数 23回/3年 153.3%	A
◆(事業48) 市民向けものづくり体験・学習 イベントの開催	参加者300人/3年	参加者数 1,021人/3年 340.3%	A
◆(事業49) ものづくり現場企業見学会の開催	参加者300人/3年	参加者数 82人/3年 27.3%	C

注) ◆印は基本計画の策定に伴い新たに取り組む事業を示しています。

方針等 区 分		(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度																												
事業名	企業と大学等との就職に関する情報交換の促進	予算額	172千円																													
		決算額	150千円																													
事業概要	県内外の大学等(短大・専門学校を含む)と市内の事業所が、採用情報等について情報交換を行う場を設け地域の産業の人材確保に向けた支援を促進します。	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■日程 平成27年1月27日(火)</p> <p>■会場 グランシップ</p> <p>■対象 企業の人事担当者と県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者</p> <p>■その他の予定</p> <p>10月 公共職業安定所(静岡・清水)と商工会議所の担当者打合せ</p> <p>11月 企業、大学へ交流会参加依頼の通知</p> <p>12月 参加企業、大学の確定、プロフィール作成依頼</p> <p>1月 参加企業、大学へ資料送付</p> <p>1月 交流会実施</p> <p>2月 アンケート実施及び来年度に向けた検討</p> <p>■予算額</p> <table border="0"> <tr> <td>茶菓代</td> <td>41,000円</td> </tr> <tr> <td>看板代・会場設営・撤去費</td> <td>73,000円</td> </tr> <tr> <td>会場借上料等</td> <td>58,000円</td> </tr> </table>		茶菓代	41,000円	看板代・会場設営・撤去費	73,000円	会場借上料等	58,000円																					
	茶菓代	41,000円																														
看板代・会場設営・撤去費	73,000円																															
会場借上料等	58,000円																															
補足事項	大学3年生の就職活動のスタートが12月となったことにより、静岡県では11月、本市では1月に本交流会を開催する。就職活動開始前後に開催することで、ニーズの異なる企業、大学等の参加が見込まれる。	進捗率	H26.9.1 現在	(9%)																												
		H27.3.31 現在	<table border="0"> <tr> <td>(参加大学等)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24 / 42校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25 / 60校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26 / 60校</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計 / 162校</td> <td></td> <td>(参加大学等) 90.0 (9%)</td> </tr> <tr> <td>(参加企業等)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H24 / 53社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H25 / 56社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26 / 71社</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計 / 180社</td> <td></td> <td>(参加企業等) 75.0 (9%)</td> </tr> </table>		(参加大学等)			H24 / 42校			H25 / 60校			H26 / 60校			計 / 162校		(参加大学等) 90.0 (9%)	(参加企業等)			H24 / 53社			H25 / 56社			H26 / 71社			計 / 180社
(参加大学等)																																
H24 / 42校																																
H25 / 60校																																
H26 / 60校																																
計 / 162校		(参加大学等) 90.0 (9%)																														
(参加企業等)																																
H24 / 53社																																
H25 / 56社																																
H26 / 71社																																
計 / 180社		(参加企業等) 75.0 (9%)																														
1	成果目標	参加者 大学等 180校/3年 企業等 240社/3年	事業評価	<p>■目的</p> <p>学生と企業の「就職・雇用のミスマッチ」を解消するため大学等の就職指導者と企業の人事担当者との情報交換・意見交換を実施することにより、平成28年3月卒業の学生の就職促進を図る。</p> <p>■日時</p> <p>平成27年1月27日(火) 午後2時から午後4時半まで</p> <p>■会場</p> <p>グランシップ</p> <p>■参加者</p> <p>①県内外の大学・短大・専門学校の就職指導者 60校73人</p> <p>②静岡市内に所在する企業の人事担当者 71社101人</p> <p>■内容</p> <p>大学等の就職指導者と企業の人事担当者のそれぞれのブースを設け、互いに訪問することによる情報交換と意見交換を実施した。</p>																												
総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		<p>■事業結果</p> <p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>企業の参加申込が想定を上回り、参加を断った企業も発生したため、来年度は、グランシップ1階大ホールを利用し、より多くの参加者を受け入れる体制を整えている。</p>																												
	大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援																														
	中施策	①企業と人材のマッチング																														
	産業振興プランの位置付け	基本方針 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成																														
		基本方針 (4) 次代を担う人づくり																														
		基本施策 ②職業人としての意識・能力の涵養																														
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他 (特記事項)	公共職業安定所(ハローワーク静岡・清水)及び静岡商工会議所と共催する事業である。																												

事業 2 (1)	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度(市内開催版)				
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業の推進		予算額	1,235千円			
				決算額	410千円			
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組状況	H26.9.1 現在	<p>1 対象 ①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等 ②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等</p> <p>2 内容 地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る為、経営者と大学生との交流会を市内で実施する。</p> <p>3 実施期間 8月～1月 4 執行額 委託料410,240円 5 取組状況</p> <p>■企業と学生の縁結び事業 ・大学生の夏休み時期に4回実施。 □第1回(8月8日) テーマ:豊かな自然を活かした、多様で多彩な“食・健康”産業 参加者:企業3社、学生24人 □第2回(8月22日) テーマ:キラリと光る“ものづくり”企業 参加者:企業3社、学生30人 □第3回(8月27日) テーマ:しずおかで活躍する“女性”経営者たち 参加者:企業3社、学生27人 □第4回(9月3日) テーマ:新たな価値を創り出す“デザイン・クリエイター”産業 参加者:企業3社、学生28人</p> <p>■教えて!先輩 □第1回(1月9日) テーマ:新たな価値を創る“クリエイター・マスコミ”産業 参加者:企業2社、学生13人 □第2回(1月13日) テーマ:安心・快適な住まいを造る“建築・リフォーム”産業 参加者:企業2社、学生13人</p>		
						補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者等と大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員)40人×3	進捗率
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評 価	事業結果	<p>■企業と学生の縁結び事業 ・大学生の夏休み時期に4回実施。 □第1回(8月8日) テーマ:豊かな自然を活かした、多様で多彩な“食・健康”産業 参加者:企業3社、学生24人 □第2回(8月22日) テーマ:キラリと光る“ものづくり”企業 参加者:企業3社、学生30人 □第3回(8月27日) テーマ:しずおかで活躍する“女性”経営者たち 参加者:企業3社、学生27人 □第4回(9月3日) テーマ:新たな価値を創り出す“デザイン・クリエイター”産業 参加者:企業3社、学生28人</p> <p>■教えて!先輩 □第1回(1月9日) テーマ:新たな価値を創る“クリエイター・マスコミ”産業 参加者:企業2社、学生24人 □第2回(1月13日) テーマ:安心・快適な住まいを造る“建築・リフォーム”産業 参加者:企業2社、学生13人</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援			事業 評 価	事業結果	<p>■教えて!先輩 □第1回(1月9日) テーマ:新たな価値を創る“クリエイター・マスコミ”産業 参加者:企業2社、学生24人 □第2回(1月13日) テーマ:安心・快適な住まいを造る“建築・リフォーム”産業 参加者:企業2社、学生13人</p>
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援					
		中施策	①企業と人材のマッチング					
	産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	事業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	翌年度から「市内版」「県西部版」「首都圏版」を1つに統合し、事業全体の効率化を図っていく。今後は、平成27年度事業のアンケート結果等を踏まえ、地域企業への就職に確実に結びつく内容へと充実させることをめざしていく。		
基本方針		(4) 次代を担う人づくり						
基本施策		②職業人としての意識・能力の涵養						
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)					

事業 2 (2)	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度(県西部開催版)					
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業 の推進		予算額	0千円				
				決算額	167(市内開催版の不用額を流用) 千円				
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力伝える就職支援策を推進します。		取組 状況	H26.9.1 現在	1 対象 ①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等 ②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等 2 内容 地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る為、経営者と大学生との交流会を県西部で実施する。 3 実施期間 11月 4 執行額 委託料167,400円 5 取組状況 ■企業と学生の縁結び事業 □第1回(11月5日) 参加者:企業3社、学生20人			
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者と大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。 ・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員)40人×3				進捗率	H26.9.1 現在	
								H27.3.31 現在	※2(3)首都圏版の欄にまとめて記載
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評価	事業結果	■企業と学生の縁結び事業 □第1回(11月5日) 参加者:企業3社、学生20人			
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援						
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援						
		中施策	①企業と人材のマッチング						
産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成							
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり							
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養							
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)	H26年度新規事業。					

事業 2 (3)	方針等 区分	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度(首都圏開催版)			
	事業名	(仮) 経営者と大学生の縁結び事業 の推進		予算額	2,019千円		
				決算額	1,561千円		
	事業概要	優秀な人材を確保するために、経営者等が大学3年生等に直接、地域の産業の魅力を伝える就職支援策を推進します。		取組 状況	H26.9.1 現在	<p>1 対象</p> <p>①静岡市内の特色ある産業・業界の中小企業経営者等</p> <p>②地元企業への就職に興味のある大学生及びその親等</p> <p>2 内容</p> <p>地元企業の経営者等と就職活動を控えた大学生との意見交換を通じて、業界の理解と地域企業の人材確保を図る為、経営者と大学生との交流会を市内で実施する。</p> <p>3 実施期間 7月～2月</p> <p>4 執行額 委託料410,240円</p> <p>5 取組状況</p> <p>・学生の夏休み前に1回、冬休み前に1回、就活解禁前に1回実施。</p> <p>■企業と学生の縁結び事業</p> <p>□第1回(7月11日)</p> <p>参加者：企業3社、学生15人</p> <p>□第2回(12月17日)</p> <p>参加者：企業3社、学生17人</p> <p>□第3回(2月4日)</p> <p>参加者：企業3社、学生12人</p>	
		補足事項	市内の中小企業経営者や人事担当者等と大学生等が情報交換するセミナーを年3回開催する。				進捗率
		・参加企業 3社×3 ・参加学生(定員) 40人×3		H26.9.1 現在	H27.3.31 現在		
	成果目標	参加者 360人/3年		事業 評価	事業結果	<p>■企業と学生の縁結び事業</p> <p>□第1回(7月11日)</p> <p>参加者：企業3社、学生15人</p> <p>□第2回(12月17日)</p> <p>参加者：企業3社、学生17人</p> <p>□第3回(2月4日)</p> <p>参加者：企業3社、学生12人</p>	
	総合計画 の 位置付け (分野別) IV産業 ・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援				
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
産業振興 プランの 位置付け	基本方針	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	翌年度から「市内版」「県西部版」「首都圏版」を1つに統合し、事業全体の効率化を図っていく。今後は、平成27年度事業のアンケート結果等を踏まえ、地域企業への就職に確実に結びつく内容へと充実させることを目指していく。		
	基本方針	(4) 次代を担うづくり					
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)	H26年度新規事業。			

事業 3	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度			
	事業名	定年延長を見越した中高年技術研修の検討	予算額	0千円			
			決算見込額	0千円			
	事業概要	セカンドライフの充実に向けて、中高年技術者等のニーズに基づいた技術や技能の向上に関する研修会開催を検討します。(若年層の育成や中小企業の技術力向上等を含む)		取組状況	H26.9.1 現在		■市内各関連団体との連携を強化し、各種表彰制度への推薦や活動内容の周知など効果的な支援について検討する。また、市内において中高年が活動している事例を調査し、定年後のセカンドライフの充実に向けた施策について検討する。
		補足事項		進捗率	H26.9.1 現在 (参加者数)	0 (%)	
				H27.3.31 現在 (参加者数)	0 (%)		
	成果目標	参加者 30人/3年		事業結果	■静岡市内の企業OBによる諸活動 <input type="checkbox"/> 日立清水理科クラブ 子どもたちの理科への関心を高めようと、小学生を対象にものづくり教室や理科授業支援を行っている。会員は日立グループOBであり、ものづくりに長年携わってきた熟練者の集団である。本活動は未来を拓く児童・生徒の育成に寄与している。 <input type="checkbox"/> NPO法人マンパワーカフェ 当団体は、静岡商工会議所からの受託で「製造現場改善支援事業」を行っており、技術力向上支援では、技術に課題を持つ企業に対して熟練の支援者が現場に向き技術支援等を行っている。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			■コミュニティ活動賞への推薦 静岡県コミュニティづくり推進協議会が主催する「平成26年度コミュニティ活動賞」に上記2団体を推薦した結果、両団体が以下のとおり受賞した。 <input type="checkbox"/> 日立清水理科クラブ 優良賞 <input type="checkbox"/> NPO法人マンパワーカフェ 奨励賞		
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方針		事業評価等	(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項			
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議委員3人 ■事務担当 工業振興係		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等	■今後も引き続き、市内各関連団体との連携を強化し、効果的な支援について検討するとともに、市内における中高年の活動事例を調査し、セカンドライフの充実に向けた施策について検討していく。			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係						

ものづくり基本計画		(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策1) 地域における人材確保への支援		平成26年度	
事業名	理工系大学の誘致及び市内の既存大学における工学部新設の検討	予算額			千円
		決算見込額			千円
	事業概要	<p>市内外から優秀な人材を確保し、これらの人材の市内ものづくり産業への就業を促進させる観点から、市内に理工系大学を誘致することなどを検討する。</p> <p>理工系大学等は、新製品や加工技術の研究開発のほか、優れた人材を育成し、市内の中小製造事業所への人材供給機関として、その役割に大きな期待が寄せられる。併せて大学の教授陣と地元で就業した卒業生との間における「人的ネットワーク」の形成からは、信頼関係のもとで、製品開発などに新たな事業展開の示唆を含めた支援・相談・共助機関としての役割にも期待が持てる。</p> <p>現在のところ、このような理工系大学等は静岡市に無く、今後のものづくり産業（製造業）の振興を図る上では、極めて重要な視点であり、誘致等を検討する必要性から事業化された経緯がある。</p>	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■静岡商工会議所との連携</p> <p>理工系大学の誘致等については、市単独で推進するよりも、学科等の専門領域の選定に係る地元産業界のニーズ把握が重要である。そのため、静岡商工会議所が市に対して要望する「理工系大学の誘致等」に関して情報及び意見等を交換する機会を事務レベルで設定することとした。</p>
			進捗率	H26.9.1 現在	(%)
		H27.3.31 現在	(%)		
成果目標	3年間検討し、関係機関等との協議を含めた報告書を作成				
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針		事業結果	<p>■静岡商工会議所との協議概要</p> <p>市が理工系大学の誘致等に向けた取組をする一方、地元の産業界を代表する静岡商工会議所から、理工系大学の誘致等が要望として市に示された。このため、事務レベルにおいて、理工系大学の誘致等に向けた基本的考え方の相互確認のほか、中長期にわたる具体的な取組みなどを協議した。この中では、電気や機械に関する学科の設置を基本としながらも、将来の成長を見越した学科の編成なども、継続課題として取り扱われた。</p>	
	大施策				
	中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向		事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p> <p>■特になし</p>	
	基本方針				
	基本施策				
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 産業振興課総務係</p>		<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■年度当初の製造業部会への概説</p> <p>理工系大学の誘致等については、翌年度当初の製造業部会において、概要を説明するとともに、静岡商工会議所と市がそのビジョン形成に向けて、先駆的取組の視察等に関して、取組を進められる部分から順次実施していくことが重要である。</p> <p>来年度においても、相互に連携し、本市のものづくり人材の育成及び供給に加え、製造事業者の抱える課題等の解決などを念頭に置き、肅々と取り組んでいきたい。</p>	
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 総務係</p>				

ものづくり基本計画		(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度	
事業名	人材育成に係る各種講座、セミナー等の開催	予算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部		
		決算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部		
事業概要	各産業支援施設において、中小企業の経営者・従業員の人材育成のため、大学や産業界で活躍する専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催します。	取組状況	H26.9.1 現在	(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校3校 開催数 4回 受講者数 59人(今年度9校予定) ・マーケティング支援講座 開催数 5回 受講者数 432人 (清水産業・情報プラザ) ・情報化講演会 開催数 1回(延べ3日) 受講者数 51人	
			進捗率等	(開催回数) H26 / 10回 (受講者数) H26 / 542人 (開催回数) 136.6 (%) (受講者数) 81.0 (%)	
補足事項		進捗率等	(開催回数) H24 / 37回 H25 / 33回 H26 / 41回 計 / 111回 (受講者数) H24 / 1,658人 H25 / 1,332人 H26 / 1,645人 計 / 4,635人	(開催回数) 185.0 (%) (受講者数) 103.0 (%)	
5 成果目標	開催回数 60回/3年 受講者数 4,500人/3年	事業評価	事業結果		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 IV産業・経済 1 都市型産業集積を旨とした産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		(産学交流センター) ・大学等起業家育成事業：開催校 9校 開催数 22回 受講者数(延べ) 483人 ・マーケティング支援講座 開催数 12回 受講者数 881人 ・マーケティング支援講座以外の講座 開催数 3回 受講者数 74人		
	大施策 (2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成		(清水産業・情報プラザ) ・女性のための創業セミナー 開催数 1回(全2回) 受講者数 42人 ・情報化講演会 開催数 3回(延べ7日) 受講者数 165人		
	中施策 ③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上				
産業振興プランの位置付け	基本方向	次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等 開催回数・受講者数とも目標値を達成することができた。 今後も引き続き、中小企業経営者や従業員の人材育成のため、専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催し、人材育成に努める。			
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係	その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度	
事業名	若手後継者の技術習得支援 (伝統工芸技術保存講習会の開催)	予算額			1,890 千円
		決算額			1,715 千円
事業概要	伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工などの講習会を行います。	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成26年5月13日(火)～9月30日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成26年9月22日(月)～11月17日(月)までのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人程度 (予定)</p> <p>③竹工芸細工の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹工芸細工) 期間 平成26年9月30日(火)～12月9日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者9人程度 (予定)</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成26年4月24日(木)～12月4日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人程度 (予定)</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成26年10月7日(火)～平成27年3月10日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人程度 (予定)</p>	
			補足事項	進捗率	H25.9.1 現在
			H25.3.31 現在	(受講者数) 38人	126.7 (%)
成果目標	受講生 30人以上/年 (漆器、蒔絵、木工、竹工芸、拭漆の5部門に関する講座)	事業結果	<p>■伝統工芸界の後継者育成と伝統工芸技術の保存伝承並びに技術訓練を図り、今後の商品開発に活用する目的で、漆器、蒔絵、拭漆、竹工芸細工、木工指物などの講習会を地元の若手後継者を対象に開催。</p> <p>①漆器の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(漆器の部) 期間 平成26年5月13日(火)～9月30日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者7人</p> <p>②拭漆の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(拭漆の部) 期間 平成26年9月22日(月)～11月17日(月)でのうち7日間 受講生 木工関連業界関係者5人</p> <p>③竹工芸細工の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(駿河竹工芸細工) 期間 平成26年9月30日(火)～12月9日(火)までのうち11日間 受講生 竹業界後継者9人</p> <p>④木工指物の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(木工指物の部) 期間 平成26年4月24日(木)～12月4日(木)までのうち15日間 受講生 木工家具関連業界関係者8人</p> <p>⑤蒔絵の部 事業名 伝統工芸技術保存講習会(蒔絵の部) 期間 平成26年10月7日(火)～平成27年3月10日(火)までのうち20日間 受講生 蒔絵、漆器関連業界関係者9人</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策方針 IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援</p> <p>大施策 (3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化</p> <p>中施策 ①研究開発力の強化</p>		事業評価		
産業振興のプラン位置付け	<p>基本方向 2 生活の質を高める産業の振興</p> <p>基本方針 (1) マーケットを重視した事業展開の促進</p> <p>基本施策 ④地域・伝統産業の近代化推進</p>	等	<p>(事務担当) 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>		
所属部会	<p>■伝統工芸創造部会 部会員 ものづく審議会 5人</p> <p>■事務担当 地場産業係</p>	<p>(事業担当) 記載事項</p> <p>改善点</p> <p>・ 目標の未達成理由等</p>	<p>■若手職人ネットワークの構築 漆器の部では木工業の従事者である若手職人が、勉強のため参加するなど、業種の枠を超えた参加者同士が同じ講習に参加し木工従事者と既参加の漆器業界の若手の交流が図られている。</p> <p>■作品展示会の開催 蒔絵の部では前年度の作品展を引き続き開催していきたい。</p> <p>■東京芸術大学との連携模索 東京芸術大学に連携メニューの可能性を打診するため、大学を訪問し地元職人の学習の場の可能性を模索していく。</p>		
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 地場産業係</p>				

事業 7	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度			
	事業名	伝統工芸技術秀士の指定及び顕彰の推進・PR活動の促進		予算額	741 千円		
				決算額	714 千円		
	事業概要	伝統工芸技術保存と後継者の育成を図るため、本市の伝統産業に長年従事する技術者の中から特に優秀な技術を有し、その伝承と産業の発展に対し功績が顕著である者の指定及び顕彰を推進します。併せてPR活動を促進します。		取組状況	H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統工芸技術秀士の指定者の検討 平成26年度中に1名を顕彰予定。 ■ PR活動の実施 伝統工芸技術秀士の作品展示やDVD上映等によるPR活動を実施(駿府匠宿、東京都台東区、各区役所)又は予定中(東京都内、各区役所、駿府匠宿、駿府楽市等) 	
		補足事項			進捗率	H26.9.1 現在	(%)
					H27.3.31 現在	(顕彰者) H24 / 1人 H25 / 0人 H26 / 1人 計 / 2人 (展示会等) H24 / 7回 H25 / 7回 H26 / 7回 計 / 21回	(顕彰者数) 66.7 (展示会等) 140.0 (%)
	成果目標	平成28年度までに2名指定 (現在50人) 展示会等 15回/3年		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統工芸技術秀士の顕彰 伝統工芸技術秀士1名を顕彰した ■ 伝統工芸技術秀士のPR ・首都圏でのPR(台東区2k540での作品展示及びパネル紹介等 7月開催) ・市内でのPR(各区役所フロアでの作品展示 計2回、駿府楽市での常設展示、駿府匠宿での紹介映像通年上映及び特別展示会) 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方針			事業評価等	(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項		
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■ 事務担当 地場産業係 		(事業担当) 記載事項 改善点 ・ 目標の未達成理由等	駿府匠宿や駿府楽市での常設展示や実演・秀士紹介DVD放映のほか、各区役所等での企画展示、イベント等での実演をはじめ、首都圏PR事業の中での企画展示及び秀士紹介DVD放映などを継続して実施中。今後も更に、秀士の認知度向上や宣伝に努めるよう、展示会をはじめ、様々なPR方法について検討し、充実化を図ります。 秀士の顕彰については、対象者の不足という現状もあることから、今後も中長期的視点に立って顕彰者の選定にあたって参ります。			
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係						

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援	平成26年度				
	事業名	クラフトマンサポート事業の拡充	予算額	4,200 千円			
			決算額	2,175 千円			
	事業概要	伝統産業を担う人材の確保、後継者育成のため、新規就業促進のための短期現場実習、後継者育成を図る長期現場実習、ものづくりで生計を志す方への独立支援補助事業を拡充します。	取組状況 H26.9.1 現在	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 1名 (600千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 1名 (2,400千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 0名 (1,200円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)			
				補足事項	進捗率 H26.9.1 現在		
	H27.3.31 現在	(短期支援) H24 / 3人 H25 / 1人 H26 / 4人 計 / 8人 (長期支援) H24 / 2人 H25 / 3人 H26 / 2人 計 / 7人 (独立支援) H24 / 1人 H25 / 1人 H26 / 0人 計 / 2人	(短期支援) 133.3 (長期支援) 116.7 (%) (独立支援) 66.7			(%)	
		成果目標	短期支援6人/3年、長期支援9人/3年 独立支援3人/3年(各人数は延べ) ※長期支援は期間拡充	事業結果	(1) 地域産業現場実習短期支援者数 4名 (1,175千円) (2) 地域産業現場実習長期支援者数 2名 (100千円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31) (3) 地域産業独立支援補助金交付者数 0名 (0円) 報告期間(前期4/1~9/30 後期10/1~3/31)		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針 IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業評価等		(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項		
		大施策 (1) 地域経済を担う多様な人材の活用と育成					
	産業振興のプラン位置付け	中施策 ④高度で専門的な知識・技能をもつ人材の活用と育成	基本方向 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成 基本方針 (4) 次代を担う人づくり 基本施策 ②職業人としての意識・能力の涵養	(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等			
■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業係							
事業担当課等 経済局商工部 産業振興課 地場産業係							

事業	ものづくり基本計画	(方針1) 次代を担う有能な人材の確保と技術等の向上 (施策2) 技術者、経営者等の能力向上への支援		平成26年度			
	事業名	技能検定の受験及び技能五輪への参加等に向けた支援の検討		予算額	千円		
				決算額	千円		
	事業概要	本市のものづくり産業の力量形成に向けて、確かな技術や技能は必須条件の一つであるため、技能検定の受験及び技能五輪大会への参加等を目指す技術者や事業所等に対して、費用助成等の支援を検討する。		取組状況	H26.9.1 現在	■平成25年度のヒアリング結果から、支援制度の制定について、その必要性も含め、詳細を検討する。	
		補足事項			進捗率	H26.9.1 現在	(%)
						H27.3.31 現在	(%)
	成果目標	補助金等交付要綱などの支援制度の整備		事業結果	■技能五輪の参加について ・大手企業は自社の技術力向上やイメージづくりのため、技能五輪参加を考えるが、中小企業の参加希望については、ヒアリングで確認することができず、技能五輪参加に向けた補助は必要とされていないとの結論に至った。このことから、平成27年度から施行の第2次ものづくり産業振興基本計画策定の中で、中小製造事業者の技術力向上や、人材の育成に対し新たな支援策の検討を行った。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方向			事業評価等	(事務担当) 記載項目		
	基本方針				所属部会からの意見及び指摘事項		
	基本施策						
所属部会	■技術者養成部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業係		事業担当 記載事項	■平成27年度施行の第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画では、中小企業の技術力向上や、人材育成に向け新たな支援策を掲載する。			
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係			改善点・ 目標の未達成理由等			

事業 10	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度						
	事業名	若手グループの商品開発支援 (ものづくり相談・支援)		予算額	1,146 千円					
				決算額	1,005 千円					
	事業概要	市内地場産業の活性化のために、デザイン、技術、経営等に関する各種講演会や指導会のほか、実技指導も含めた技術講習会の開催や、専門家による新商品開発指導など、ものづくりに対する相談を行います。		取組状況 H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 吹付塗装技術実技講習会の実施(計3回)(予定) ■講演会の開催 デザイン開発講演会(1回)(予定) ヒット商品講演会(1回)(予定) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(2回)(計5回予定) ■展示会開催 乾漆開発品の展示会(予定) 乾漆商品開発研究会(10回)、(計24回予定) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回)(予定) 					
					補足事項	進捗率	H26.9.1 現在			(%)
							H27.3.31 現在	(技術講習会開催数) 3回 (講習会等開催数) 33回	(技術講習会開催数) 300.0 (講習会等開催数) 660.0	(%)
	成果目標	技術講習会 1回/年 講習会等 5回/年 (新商品開発事業の推進等)		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■技術講習会の開催 吹付塗装技術実技講習会の実施(計3回、参加者各7名) ■講演会の開催 デザイン開発講演会(1回、参加者31名) ヒット商品講演会(1回、参加者31名) ■商品開発事業の開催 漆器商品開発研究会(計5回) ■展示会開催 乾漆開発品の展示会(1回/7日間) 乾漆商品開発研究会(計24回) ■専門家派遣の実施 乾漆商品開発指導(1回、参加者13名) 					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針								
		大施策								
		中施策								
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等 (事務担当)記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項						
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進								
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進								
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業係 		改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■専門家派遣と地元展示会出展による乾漆商品開発の実施 乾漆の商品開発事業として著名専門家を継続的に派遣し、技術向上に努めると共に、地元の各種展示会に出展し商品化を促した。 						
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係									

事業 11	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度				
	事業名	地場産品及び伝統工芸品の販路開拓推進		予算額	17,813 千円			
				決算額	17,756 千円			
	事業概要	伝統工芸品のインターネット通販、駿府楽市特産品展示コーナーの運営等により、地場産品や伝統工芸品等の販路開拓を図ります。		取組状況	H26.9.1 現在 JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて11回の展示会を開催。(来場者数 165,140人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて12回の展示会を開催予定。(来場者数 93,840人)			
		補足事項			進捗率	H26.9.1 現在 (%)		
					H27.3.31 現在	(イベント開催回数) 50回	(イベント開催回数) 100.0 (%)	(%)
	成果目標	各種展示販売イベント 50回/年 (駿府楽市や駿府匠宿のギャラリー等)						
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業結果	■特産品展示販売 JR静岡駅構内アスティ静岡の「駿府楽市」静岡市特産品展示コーナーにおいて年間27回の展示会を開催した。(年間来場者数414,440人) 駿河区丸子「駿府匠宿」ギャラリーにおいて年間23回の展示会を開催した。(年間来場者数246,790人)		
		大施策						
		中施策						
	産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等	(事務担当) 記載項目		
基本方針		(1) マーケットを重視した事業展開の促進		所属部会からの意見及び指摘事項				
基本施策		③販路開拓支援						
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業係		(事業担当) 記載事項					
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係		改善点 ・ 目標の未達成理由等 静岡駅 駿府楽市については、前年度、アスティ内にある他の土産店との差別化ができなかったことにより、駅を訪れた観光客を取り込むことができなかった。 そのため平成26年度は、デザイナーによる商品のブラッシュアップや店舗の陳列方法等を改良するなどして対応を図ったが、平成27年度以降も継続的に対応方法を検討していく。 匠宿 鞠子楽市においては、ツアーバスの500キロ規制で団体客が減少したことにより、施設来場者が落ち込んだ。今後は、新たな魅力あるツアーを開発し、旅行会社に売り込み、ツアー客の増、買い物客の増へとつなげていきたい。					

ものづくり基本計画		(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3)情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度	
事業名	全国規模等の見本市への出展助成強化	予算額	13,800 千円		
		決算額	13,797 千円		
事業概要	市内中小企業製造業者が市内外で行われる全国規模または国際的な展示会・見本市等に出展する経費のうち小間料について、助成を拡大します。	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■平成26年9月1日現在、補助申請件数 35件※(31件) ※相談中の企業数は含まない 執行額 10,124千円(9,376千円)</p> <p>※()内は平成25年9月1日の数値</p>	
			進捗率	H26.9.1 現在	(助成件数) 97.9 (%) (予算執行額) 73.4
補足事項		H27.3.31 現在		(助成件数) 110.0 (%) (予算執行額) 99.9	
			(参考)対予算執行額		
成果目標	助成件数 140件/3年 (1社当たり、国内外各1回の計2回/年に強化)		<p>■申請件数：52件 執行額：13,797千円(平成27年3月31日現在)</p> <p>■申請企業数は2社増、執行率はほぼ満額執行となった。</p> <p>■当補助金を利用した52社の内、海外展示会への出展を行った企業数は5社であり、昨年と比較し1社増加した。また、補助金利用企業の内新規利用が16社あり、徐々に補助金の周知が図られている。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>■平成25年度に制度を利用した企業に対しアンケートを実施。ニーズ把握等に努めた。</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化	事業結果		
	大施策	(2)地域産業の活力強化			
	中施策	②経営基盤とマーケティング力の強化			
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	事業評価等		
	基本方針	(1)マーケットを重視した事業展開の促進			
	基本施策	③販路開拓支援			
所属部会	<p>■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業振興係</p>		<p>(事務担当)記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>		
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 工業振興係</p>			<p>(事業担当)記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■3年間で目標を上回る件数の助成を行うことができた。中小製造事業者の販路開拓ニーズの高まりを受け、平成27年度予算において増額を行うこととした。</p> <p>■引き続き制度の周知を積極的に行うとともに、事業内容についても利用しやすい制度となるよう検討していく。</p>

事業 13	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策3) 情報戦略、製品開発、販路開拓等への支援		平成26年度			
	事業名	中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援(情報発信・ビジネスマッチングの機会提供)		予算額	0千円		
				決算額	0千円		
	事業概要	新規顧客開拓や新分野進出を目指す市内企業を支援するため、情報発信やビジネスマッチングの機会提供を推進します。		取組状況	H27.3.31 現在 ■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア 10月2日・3日 募集終了 参加企業1社 ・おおた工業フェア 2月5日～7日 募集終了 参加企業1社 ■販路開拓事業(産業政策課) 民間コーディネーターの人脉を活用した「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会		
		補足事項			進捗率等	(%)	
					H27.3.31 現在	(支援事業への参加企業数) H24 / 19社 H25 / 53社 H26 / 17社 計 / 89社 (新規顧客開拓件数) H24 / 3件 H25 / 2社 H26 / 1社 計 / 6社 (新分野進出・業務転換企業数) H24 / 6件 H25 / 6社 H26 / 1社 計 / 13社	(支援事業への参加企業数) 296.7 (新規顧客開拓件数) 100.0 (新分野進出・業務転換企業数) 433.3
	成果目標	支援事業への参加企業数 30社/3年 新規顧客開拓件数 6件/3年 新分野進出・業務転換企業数3社/3年		事業結果			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価	■まちなみがき戦略推進プラン事業 「中小企業の新規市場開拓・新分野進出への支援」 (情報発信・ビジネスマッチングの機会提供) ・おおた研究・開発フェア(太田区)10月2～3日 出展企業1社 ・おおた工業フェア(太田区)2月5～7日 出展企業1社 ■販路開拓事業(産業政策課) 「食」の海外展開支援のための台湾バイヤー商談会 12月16日～19日 台湾バイヤー12社と静岡側セララー5社の商談会実施 ◇支援事業への参加企業 89社/3年 ◇新規顧客開拓件数 6件/3年 ◇新分野進出・業務転換企業数 13件/3年	
		大施策					
	まちなみがき戦略推進プランの位置付け	中施策			事業評価		
		ビジョン	「鳥の眼」ビジョン				
	産業振興プランの位置付け	政策の柱	地元産業の活性化		事業評価		
		基本方向					
基本方針							
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他(特記事項)	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 金融機関との連携を継続するとともに、大学等との連携についてもさらなる充実を図る。 また、市内オンリーワン・ナンバーワン企業の発掘とその技術や製品の効果的な情報発信のために、企業訪問を積極的に行っていく。			

事業 14	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	マーケティング支援講座の実施	予算額	指定管理料87,702千円の一部 千円			
			決算額	指定管理料87,702千円の一部 千円			
	事業概要	産学交流センターにおいて、中小事業者等のマーケティング発想の醸成を図り、市場ニーズに対応した製品・サービスの開発を支援するため専門家等によるセミナー・研修を実施します。		取組状況 H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 5回 受講者数 432人 (内訳) ・5/21「小さな会社のための「ブランディング」セミナー」 受講者数 106人 ・6/12「中小企業が成長を遂げるための情報収集手法」 受講者数 56人 ・6/25「改めて顧客中心主義について考えよう」 受講者数 81人 ・7/24「売れる営業マンに変わる名刺交換の技術」 受講者数 102人 ・8/6「中小企業のためのSNS徹底活用術」 受講者数 87人 【今後の予定】 ・マーケティング支援講座 7回		
		補足事項	進捗率等		(開催回数) H26 / 5回 (開催回数) 83.3 (受講者数) H25 / 432名 (受講者数) 106.0 (%) (開催回数) H24 / 12回 (開催回数) 102.8 H25 / 13回 (受講者数) 127.4 (%) H26 / 12回 計 / 37回 (受講者数) H24 / 877人 H25 / 918人 H26 / 881人 計 / 2,676人		
	成果目標	開催回数 36回 / 3年 受講者数 2,100人 / 3年 (※再掲 事業5の内数)		事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング支援講座 12回 受講者数 881人 (内訳) ・5/21「小さな会社のための「ブランディング」セミナー」 受講者数 106人 ・6/12「中小企業が成長を遂げるための情報収集手法」 受講者数 56人 ・6/25「改めて顧客中心主義について考えよう」 受講者数 81人 ・7/24「売れる営業マンに変わる名刺交換の技術」 受講者数 102人 ・8/6「中小企業のためのSNS徹底活用術」 受講者数 87人 ・9/4「AKAISHI」のチャレンジングスピリットと社内リソースを重視したマーケティング」 受講者数 53人 ・10/7「消費税増税で商売繁盛する仕組み」 受講者数 42人 ・10/27「元気な会社の経営戦略 成長し続ける企業の共通点とは？」 受講者数 85人 ・11/14「「小っちゃな」会社が大きな会社に負けないためのマーケティング戦略」 受講者数 65人 ・12/3「手作り菓子一筋147年「マルヒ松柏堂本店」が歩んできた道とは？」 受講者数 55人 ・12/17「1行で差が付くテクニック「売れる」キャッチコピーはこう作る！」 受講者数 91人 ・1/22「これからの時代の変化を好機にするリーダー」 受講者数 51人 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業結果		
		大施策	(2) 地域産業の活力強化 【再掲】 (5) 地域を担う多様な人材の活用と育成				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成 ②経営者・経営幹部の意識改革による経営能力の向上				
	産業振興プランの位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
基本方針		(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
基本施策		①マーケティング力の強化	開催回数・受講者数とも目標値を達成することができた。今後も引き続き、中小企業経営者や従業員の人材育成のため、専門家の協力を得て、各種講座やセミナーを開催し、人材育成に努める。				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)				

事業 15	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	専門家による窓口相談	予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部		千円	
			決算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部		千円	
	事業概要	中小企業支援センターにおいて、専門の異なる中小企業診断士等による窓口相談を実施します。		取組状況	<p>H26.9.1 現在</p> <p>窓口相談企業数 190社 窓口相談件数 200件</p> <p>(業種別内訳) 製造業20件、卸売業6件、建設業3件、小売業36件、サービス業116件、その他19件</p> <p>(支援内容別内訳) 創業60件、その他140件</p>		
		補足事項			H26.9.1 現在	(相談件数) H26 / 200件	(相談件数) 133.4 (%)
					H27.3.31 現在	(相談件数) H24 / 475件 H25 / 526件 H26 / 493件 計 / 1,494件	(相談件数) 166.0 (%)
	成果目標	相談件数 900件 / 3年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	窓口相談企業数 413社 窓口相談件数 493件	
		大施策	(2) 地域産業の活力強化			(業種別内訳) 製造業40件、卸売業12件、建設業5件、小売業72件、サービス業326件、その他38件	
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化			(支援内容別内訳) 創業126件、その他367件	
産業振興プランの位置付け	基本方向			事業評価			
	基本方針				次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
	基本施策					目標値を達成することができた。 今後も引き続き、専門家による窓口相談を拡大する。特に待つだけではなく、こちらから出張相談を実施予定。	
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度		
事業名	コンサルティングの実施	予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円及び清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円の一部			
		決算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円及び清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円の一部			
事業概要	中小企業支援センター及び清水産業・情報プラザにおいて、専門家を事業者に派遣し、問題解決のための診断・助言を行います。		取組状況	<p>H26.9.1 現在</p> <p>【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 13社 ・専門家派遣件数 50件 (派遣内容内訳) 経営全般19件、IT17件 (派遣業種内訳) 製造業1件、サービス業10件、その他3件</p> <p>【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、品質向上コース2件、HACCPコース1件 (派遣業種内容) 製造業5件、卸売業3件、印刷業2件、運送業1件</p>		
	補足事項	進捗率等	<p>H26.9.1 現在 (派遣回数) H26 / 63件 (派遣回数) 44.7 (%)</p> <p>H27.3.31 現在 (派遣回数) H24 / 112件、H25 / 120件、H26 / 122件、計 / 354件 (派遣回数) 53.6 (%)</p>			
成果目標	派遣回数 660件/3年		事業評価	<p>【中小企業支援センター】 ・専門家派遣企業数 29社 ・専門家派遣件数 122件 (派遣内容内訳) 経営全般46件、マーケティング44件、IT20件、その他12件 (派遣業種内訳) 製造業45件、卸売業12件、建設業3件、小売業29件、サービス業33件</p> <p>【清水産業・情報プラザ】 ・専門家派遣件数 11件 (派遣内容内訳) 現場作業改善コース8件、品質向上コース2件、HACCPコース1件 (派遣業種内容) 製造業5件、卸売業3件、印刷業2件、運送業1件</p>		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果		
	大施策	(2) 地域産業の活力強化				
	中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プランの位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針			目標値を達成することができなかった。		
	基本施策			<p>【理由】 専門家派遣事業のPRをイベント等で実施しているが、効果的ではなかった。今後、相談者などにも積極的な活用を促していく。</p>		
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

事業 17	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	専門家の指導による商品企画・開発支援		予算額	指定管理料87,702千円の一部		千円
				決算見込額	指定管理料87,702千円の一部		千円
	事業概要	産学交流センターにおいて、マーケティング等の専門家を活用し、地域資源を活かした商品づくりに対する支援を行います。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>【「静岡おみやKプロジェクト」支援事業】(Kは観光のK)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 平成26年6月19日～平成27年3月末 ・参加企業数 6社 ・9月1日現在において、マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の商品企画及び企画書精査を実施。 <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイナーによる講義を経たのち、テストマーケティング(11月下旬) ・東京での試食評価会(1月) ・成果発表会及び販売会(3月) 		
		補足事項			進捗率等	H26.9.1 現在	(支援プロジェクト数) H26 / 1件
				H27.3.31 現在	(支援プロジェクト数) H24 / 1件 H25 / 1件 H25 / 1件 計 / 3件	(支援プロジェクト数) 100 (%)	
	成果目標	商品企画・開発支援プロジェクト プロジェクト数 3件/3年					
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化	事業評価	<p>【「静岡おみやKプロジェクト」支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 平成26年6月19日～平成25年3月末 ・参加企業数 6社 ・マーケティングアドバイザーによる講義・個別対応、フードコーディネーターによる講義・個別対応、デザイナーによる講義・個別対応を実施。参加企業は、磨き上げ商品の開発及び商品パッケージの完成。 ・12/6・7 テストマーケティング実施 ・1/27 商談会実施 ・3/11 成果発表会実施 ・3/21・22 お披露目販売会実施 		
		大施策	(2) 地域産業の活力強化				
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化				
産業振興プラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	目標値を達成することができた。 今後は、多くの企業が当該事業に参加できる仕組みを検討する。			
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	①マーケティング力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)				

事業 18	ものづくり基本計画	(方針2)事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4)経営資源確保のための環境整備		平成26年度		
	事業名	起業に向けたビジネスプラン策定等の支援	予算額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び 産学交流センター指定管理料87,702千円の一部	千円	
			決算見込額	SOHOしずおか運営補助金14,500千円及び 産学交流センター指定管理料87,702千円の一部	千円	
	事業概要	新規に事業展開を目指す事業者等を対象にコンテストを実施、受賞者に対する事業化に向けた支援を実施します。	取組状況 H26.9.1 現在	10月24日を応募期限として、ビジネスプランを募集中。 8月27日に、応募者(学生)向けセミナー開催受講者数 30人 【今後の予定】 ・応募者向けセミナー 10月2日 ・応募締め切り 10月24日 ・書類審査 11月上旬 ・プレゼン審査 11月28日、11月29日 ・最終審査会 2月19日		
				補足事項	進捗率等 H26.9.1 現在	(コンテスト応募件数)
			H27.3.31 現在	(コンテスト応募件数) H24 / 112件 H25 / 71件 H26 / 74件 計 257件	(応募件数) 92.5 (%)	
	成果目標	コンテスト応募件数 80件/年				
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化 【再掲】 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業結果	ビジネスプランは、74件の応募があった。 書類審査(11月上旬実施)において、プレゼン審査に進出する一般部門16者、学生部門9者を選出。 プレゼン審査(11月28日、11月29日実施)において、最終審査会に進出する一般部門6者、学生部門5者を選出。 最終審査会を2月19日(木)に実施。審査会終了後、表彰式及び交流会を実施。 本事業に関するセミナー開催数 実施回数2回 参加者数60人	
		大施策	(2)地域産業の活力強化 【再掲】 (5)地域を担う多様な人材の活用と育成			
		中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化 【再掲】 ①起業家精神の醸成と起業家の育成			
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等 目標値を概ね達成することができた。 例年並みの応募件数であった。応募者に対するフォローアップなどを充実させ、起業創業につなげていく。		
	基本方針	(1)創業支援				
	基本施策	①インキュベート機能の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他(特記事項)			

ものづくり基本計画		(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度	
事業名	創業者等の営業機会拡大等のための各種事業の実施	予算額		清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円及びSOHOしずおか運営補助金14,500千円	
		決算見込額		清水産業・情報プラザ指定管理料71,631千円及びSOHOしずおか運営補助金 千円の一部	
事業概要	清水産業・情報プラザ及びSOHOしずおかにおいて、創業者等の経営相談や営業機会拡大等のための各種事業を実施します。	取組状況	H26.9.1 現在	(清水産業・情報プラザ) ・専門アドバイザーによる定期相談 9回 39件 (情報化 21件、創業 10件、法律 5件、特許 3件) (SOHOしずおか) ・起業相談218件 ・経営相談466件 ・フレイクスルーセミナーの開催 開催数3回、参加者数344人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催	
				補足事項	進捗率等
H27.3.31 現在	(相談件数) H24 / 1,602件 H25 / 931件 H26 / 762件 計 / 3,295件	(相談件数) 274.6 (%)			
成果目標	相談件数 1,200件/3年 営業機会拡大等に関する各種支援の実施		事業評価	(清水産業・情報プラザ) 専門アドバイザーによる定期相談 開催回数 22回 相談件数 78件 (SOHOしずおか) ・起業相談 218件 ・経営相談 466件 ・フレイクスルーセミナーの開催 開催数3回、参加者数 344人 ・その他、イノベーションセミナー、勉強会、創業応援塾の開催	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化			
	大施策	(2) 地域産業の活力強化			
	中施策	③経営基盤とマーケティング力の強化			
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	(清水産業・情報プラザ) 来年度も定期相談を開催するが、相談者に対するフォローアップに取り組み、特に創業者の増加につなげていく。	
	基本方針	(1) 創業支援			
	基本施策	①インキュベート機能の強化			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)		

事業 20	ものづくり基本計画	(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度			
	事業名	専門家の指導等による商品企画・開発等支援の拡充(新商品・特許)		予算額	7,150 千円		
				決算見込額	5,562 千円		
	事業概要	市内中小企業・製造業者が行う新商品開発及び特許等の産業財産権出願などに関する経費の一部を助成します。また、助成事業の範囲を拡充します。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理している。今後、1月末までに中間検査を実施し、年度末の事業完了報告を経て補助金を交付する。(交付見込額:2,412千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 平成25年度から商標登録出願を補助対象に新たに加えたことにより、利用件数は増加傾向にある。9月1日現在、補助金交付申請件数は13件となっている。 特許:3件、意匠:3件、実用新案:4件、商標:3件 今後、事業完了報告を経て補助金を交付する。 (交付見込額:3,150千円)</p>		
					進捗率	H26.9.1 現在	(新商品助成件数)4件予定 (産業財産権助成件数)21件予定
	H27.3.31 現在	(新商品助成件数) H24 / 3件 H25 / 4件 H26 / 3件 計10件 (産業財産権助成件数) H24 / 20件 H25 / 33件 H26 / 34件 計87件 (参考)2事業合計対予算執行率	(新商品助成件数) 83.3 (産業財産権助成件数) 138.1 (予算執行率) 79.6	(%)			
	成果目標	新商品 12件/3年 産業財産権 63件/3年 (対象事業を拡充)		<p>■新商品等開発助成 新規性・市場性・事業完了見込等を基準とした審査を経て、4件の補助金交付申請を受理した。中間検査で現地訪問により進捗状況を確認したところ、各事業所とも課題点等はあったものの、おおむね順調に開発を進めていたが、年度末の事業完了報告の際に、必要書類を用意できず、報告ができなかった企業が1件あったため、補助金を支出した企業は3件となった。 (交付金額:2,112千円)</p> <p>■産業財産権出願等助成 年度末までに次のとおり交付申請があった。 申請件数34件 (内訳)特許13件、意匠5件、実用新案7件、商標9件 (交付金額:3,585千円)</p> <p>■事業の周知活動 市内信用金庫等の各関係企業、団体への訪問や会議についての説明を通じて、本事業の周知を図り、助成制度の活用促進に努めた。</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経営 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果		
		大施策	(3) 知的産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
産業振興のプラン位置付け	基本方針	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等	<p>(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項</p>		
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進					
	基本施策	①マーケティング力の強化					
所属部会	<p>■商品開発部会 部会員 ものづくり審議会委員 ■事務担当 工業振興係</p>		改善点・目標の未達成理由等	<p>(事業担当) 記載事項 新商品開発事業について、産業振興プランと連動を図るため、同プランに掲げる戦略産業に該当する産業分野での商品開発の場合は、補助対象経費を1/2から2/3に拡大する。</p>			
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 工業振興係</p>						

ものづくり基本計画		(方針2) 事業者のニーズに基づく経営資源確保への支援 (施策4) 経営資源確保のための環境整備		平成26年度	
事業名	大学等研究機関への相談機会の拡充	予算額	指定管理料87,702千円の一部		千円
		決算見込額	指定管理料87,702千円の一部		千円
事業概要	<p>市内のものづくり事業者の大学等研究機関に対する相談機会の拡充を図る。静岡市ものづくり産業振興基本計画を策定するにあたり、市内中小事業者等へのヒアリングを実施したところ、次のようなコメントが多数聴かれた。</p> <p>■中小事業者の主なコメント 「商品開発への取組みに際して、大学等の研究機関に相談を掛けたいと思う機会が度々あるが、具体的にどこへどのように行ってよいのかわからない。」 「大学等の研究機関に相談できず、解決策に行き着かないまま終わってしまうことが多々ある。」</p> <p>そのため、中小事業者の多様なニーズを汲み取るとともに、大学等の研究機関などとの結び付きを図る中間支援機能が必要とされていることから、今回の基本計画の策定に際して事業化が図られた経緯がある。</p>	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■産業振興課 (静岡商工会議所製造業部会事務局等) ・相談機会の拡充に向けた打合せ(開催予定)</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・中小企業向け大学見学会(静岡大学)を実施予定。 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>	
		進捗率等	H26.9.1 現在	(開催回数)	(%)
			H27.3.31 現在	(開催回数) H24 / 2回 H25 / 1回 H26 / 1回 計 / 4回	(開催回数)
成果目標	相談機会 6回/3年				
2.1 総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	<p>事業結果</p> <p>■産業振興課 (静岡商工会議所製造業部会) ・製造業部会において、中小企業が抱える課題等に関し、大学への相談を通じた課題解決を促す説明を実施</p> <p>■産業政策課 (産学交流センター) ・12月10日中小企業向け公設試見学会(工技研)を実施。 参加企業数4社 ・静岡地区産学連携コーディネーター会議 毎月1回開催</p>			
	大施策				
	中施策				
産業振興プランの位置付け	基本方向	<p>事業評価</p> <p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p> <p>■産業振興課 次年度は、静岡商工会議所製造業部会との連携を強化する中で、中小企業のニーズと大学の研究成果等の結び付きが円滑に実施されるように、当該部会等との連絡調整を進めていく。</p> <p>■産業政策課 次年度は、産学連携コーディネーターによる企業訪問や相談を強化し、中小企業のニーズの掘り起しや大学等とのマッチングに努めていく。</p>			
	基本方針				
	基本施策				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 総務係 産業政策課 新産業係	その他(特記事項)			

事業 22	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	産学官交流事業の推進		予算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部			
				決算見込額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部			
	事業概要	中小企業の新商品開発、新事業進出などを支援するため、産学交流センターや清水産業・情報プラザにおいて、情報提供や大学と企業との交流・連携事業を実施します。		取組状況	<p>(産学交流センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月1日現在、実績なし ・今後の予定 <p>地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催予定(平成27年3月)</p> <p>(清水産業・情報プラザ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官講演会・交流会 開催数 3回、受講者数138人 			
				進捗率等	H26.9.1 現在	(交流会開催数) H26 / 3回	(交流会開催数)	109.5 (%)
					H27.3.31 現在	(交流会開催数) H24 / 7回 H25 / 8回 H26 / 8回 計 / 23回	(交流会開催数)	114.2 (%)
	成果目標	交流会開催数 21回/3年 交流・連携に関する情報提供の実施		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>(産学交流センター)</p> <p>平成27年3月13日 地域課題に係る産学共同研究委託事業における研究成果発表会の後、交流会を開催。参加者数80名</p> <p>(清水産業・情報プラザ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学官講演会・交流会 開催数 7回、受講者数383人 			
	総合計画の 位置付け (分野別)	政策方針						
		大施策						
		中施策						
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>(産学交流センター)</p> <p>中小企業の新商品開発や新事業進出のための共同研究については委託費の見直しを要望する声が多くあるため、予算の範囲内で新たな、事業の拡充を目指す。</p> <p>(清水産業・情報プラザ)</p> <p>交流会で終わらず、成果が出るように、追跡調査に努めていく。</p>				
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援						
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の 推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)					

事業 23	ものづくり 基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度			
	事業名	異業種交流事業の推進		予算額	128 千円		
				決算見込額	128 千円		
	事業概要	地域経済の活性化、新産業及び新事業の創出を促進する各種団体への助成等を行うことにより、異業種間の交流を行い、情報、技術等の交換により、相互交流事業の推進と経営意識の高揚、経営ノウハウの構築を推進します。		取組状況	H26.9.1 現在	静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 4回、参加者数 105人	
		補足事項			進捗率等	H26.9.1 現在	講演会等 ・開催数 4回 ・参加者数 105人
					H27.3.31 現在	講演会等 ・開催数 30回 ・参加者数 858人	
	成果目標	異業種交流を推進する団体への助成		事業 評価	事業結果	静岡商工会議所異業種企業交流会の会員を対象に講演会を開催 ・講演会開催数 8回、参加者数 186人 ・視察会 2回、参加者数 22人	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興 プラン 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材 ・企業の輩出、育成		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	異業種の交流がもっと活発になるような運営方法を検討していく。		
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・ 研究開発の支援					
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 2.4	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度					
	事業名	メーカーとクリエイターのマッチング・ブランド化の支援		予算額	6,600千円の一部 千円				
				決算見込額	6,600千円の一部 千円				
	事業概要	海外を含む著名なクリエイターと地域企業、地元クリエイターと海外企業、あるいは地域のクリエイターと企業とのビジネスマッチングにより、高い付加価値を持った新商品の開発・ブランド化等を推進します。		取組状況	H26.9.1 現在	商談者数18社 うち、2社決定			
					補足事項	進捗率等	H26.9.1 現在	(新商品開発件数)	(%)
							H27.3.31 現在	(新商品開発件数) H24 / 6件 H25 / 5件 H26 / 2件 計 / 13件	(%)
	成果目標	マッチングによる新商品開発数 3件/3年		事業評価	事業結果	参加企業2社とクリエイターによる新商品開発を実施。			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化						
		大施策	(1)地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進						
		中施策	②創業と新事業展開の推進強化						
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	商談会の広報について積極的に行い、企業の掘り起こしの努力をする必要がある。				
	基本方針	(1)新産業クラスターの形成							
	基本施策	②コンテンツ産業の振興							
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)						

ものづくり基本計画		(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度	
事業名	農商工連携の推進	予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部		千円
		決算見込額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部		千円
事業概要	<p>第一次製品の生産拡大を包括したマーケティング支援事業を展開、専門家を活用し、地域資源を活用した既存商品を、さらに「売れる商品」に向上させるための事業を実施します。</p>		取組状況	<p>H26.9.1 現在</p> <p>・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体の掘り起こし等の支援を実施中。(静岡県中小企業団体中央会と連携)</p> <p>・情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)に出席。</p>	
	補足事項	進捗率等	<p>H26.9.1 現在</p> <p>H27.3.31 現在</p>	<p>事業体の掘り起こし 4者</p>	
成果目標	農商工連携による商品開発への支援		事業評価	<p>・事業体の掘り起こし支援 中小企業支援センターにおいて、新連携事業、地域資源活用プログラム、農商工連携の国の事業認定申請につながる事業体を計4者掘り起こし、支援を実施した。 (例:丸子産梅の6次産業化。地元農家等が主体となり梅干し製造。支援機関の専門家派遣を利用し商品のブラッシュアップを行い、結果として地元百貨店で歳暮商品として販売された)</p> <p>・6次産業化・農商工連携に関する情報収集、意見交換 中部地域6次産業化ネットワーク連絡会(事務局:静岡県中部農林事務所)に出席</p>	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
	大施策				
	中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>シーズの継続的な発掘及び、新産業振興プラットフォームによる支援により事業支援していく。</p>	
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の促進			
	基本施策	②生産・流通・消費の連携促進			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)		

事業 26	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度			
	事業名	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトの推進		予算額	2,000 千円		
				決算見込額	2,000 千円		
	事業概要	<p>県のプロジェクトに参加、プロジェクトで得られた成果を普及し、地域産業界における事業化を促すとともに、産学官連携の一層の強化、次代を担う人材育成等を行います。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>・フーズ・サイエンスセミナーin静岡の実施 5月27日 参加者数 148人 ・技術相談会・マーケティング相談会の実施 6月26日 相談件数 15件 ・研究施設見学会の実施 6月24日 参加者 47名 ・食品等開発研究会の参加企業及びテーマの決定 市内企業数4社 テーマは菓子、珍味、飲料、惣菜、空港就航地の5部会</p> <p>・今後の予定 フーズ・サイエンスセミナー 2回実施(藤枝市、牧之原市) 技術相談会・マーケティング相談会 3回実施(藤枝市、島田市、牧之原市) 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発</p>	
		補足事項					進捗率等
	成果目標	プロジェクトの推進			H27.3.31 現在	<p>セミナーの実施 4回 技術相談会・マーケティング相談会 5回 研究施設見学会 1回 食品等開発研究会 新製品(試作品)の開発完了</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業評価	事業結果	<p>・フーズ・サイエンスセミナーの実施 開催回数4回 参加者数614人 ・技術相談/マーケティング相談会 開催回数5回 相談件数69件 ・研究施設見学会 開催回数1回 参加者数47名 ・食品等開発研究会 11月に試作品の内覧会を実施し、また12月に商談会を実施した。 3月末に新製品(試作品)の開発を完了。</p>
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化				
		中施策	①研究開発力の強化				
	産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>・食品の機能性表示制度の見直しに伴い、新たな商機が産まれることからの絞った事業展開を目指す。</p>	
基本方針		(1) 新産業クラスターの形成					
基本施策		①健康・環境クラスターの形成推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)				

事業 27	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	地域結集型研究開発プログラムの推進		予算額	5,000 千円			
				決算見込額	5,000 千円			
	事業概要	地域産学官の連携のもと、世界市場を視野に入れた新世代茶飲料・素材の開発・事業化を目指します。		取組状況 H26.9.1 現在	前年度末までの地域結集型研究開発プログラムで得られた研究成果の普及、事業促進を目指すため、市と産業振興財団で協定を締結。事業化を推進している。 【協定期間】 平成26年4月～平成29年3月 【事業化に向けた活動】 毎月の定例会における情報・活動状況の共有。 【商品の普及に向けた活動】 お茶祭り、産業フェア、各種展示会への出展			
		補足事項			進捗率等 H26.9.1 現在 H27.3.31 現在			
	成果目標	プログラムの推進		事業評価	前年度末までの地域結集型研究開発プログラムで得られた研究成果の普及、事業促進を目指すため、市と産業振興財団で協定を締結。事業化を推進している。 【協定期間】 平成26年4月～平成29年3月 【事業化に向けた活動】 毎月の定例会における情報・活動状況の共有 【商品の普及に向けた活動】 お茶祭り、産業フェア、各種展示会への出展			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果 【協定期間】 平成26年4月～平成29年3月 【事業化に向けた活動】 毎月の定例会における情報・活動状況の共有 【商品の普及に向けた活動】 お茶祭り、産業フェア、各種展示会への出展			
		大施策	(3) 地域経済を支える知的経営資源の活用強化					
		中施策	①研究開発力の強化					
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	研究成果をもとに、事業化を推進する「フェーズⅢ」を静岡県及び公益財団法人静岡県産業振興財団と連携し進めていく。特に研究成果の商品化に向けた活動を進める。				
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成						
	基本施策	①健康・環境クラスターの形成推進						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)					

事業 28	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度		
	事業名	駿河湾地域循環型社会の推進と新事業の創出プロジェクトの推進		予算額	10,000 千円	
				決算見込額	9,358 千円	
	事業概要	「駿河湾地域新事業推進研究会」が推進する、地域資源を活用した産学官連携による新事業創出に向けた活動に対し支援を実施します。		取組状況	H26.9.1 現在	平成26年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究(東海大学) ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究(静岡大学) ・植物からの有効成分抽出研究(静岡大学)
		補足事項		進捗率等	H26.9.1 現在	(%)
				H27.3.31 現在	(事業化件数) H24 / 2件 H25 / 1件 H26 / 0件 計 / 3件	100 (%)
	成果目標	事業化件数 3件/3年		事業評価	事業結果	平成26年度、同プロジェクトが取り組む研究活動計画 ・三保地下水を利用した魚介類陸上養殖事業化に係る研究(東海大学) ・野草・食用植物の育成と有効成分の抽出の研究(静岡大学) ・植物からの有効成分抽出研究(静岡大学) 平成26年度事業化件数 0件
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を旨とした産業構造の知的高度化			
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化			
		中施策	①研究開発力の強化			
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	27年度より新産業開発振興機構に事業移管するため、各事業の事業化・発展・開発への具体的な道筋をつける必要がある。		
	基本方針	(1) 新産業クラスターの形成				
	基本施策	②環境関連産業の振興				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

事業 29	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5) 多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度				
	事業名	アーティストとのコラボレーション支援推進(ニューウェーブしずおか創造事業)		予算額	6,437 千円			
				決算額	6,141 千円			
	事業概要	静岡の特色を活かした家具等の次代を担う新商品の開発を支援し、新規流通開拓を模索するため、意欲的企業による研究会の組織、デザイナー等とのコラボレーションによる新商品開発等に取り組みます。		取組状況 H26.9.1 現在	<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 昨年度参加のチームを基に、新たにデザイナーとデザイン開発を行い試作を行った。プロデューサー指導のもとブラッシュアップに努め、商品の完成度を高めた。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成中。HPやブログ等で途中経過や展示会告知を実施中。 ■展示会への出展(予定) 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展予定。商品化を図るべく出展に向けての準備を行っている。 			
		補足事項			H26.9.1 現在	(開発点数)	(%)	
					H27.3.31 現在	(開発点数) H26 30点 ※平成26年度～単年度事業	300	(%)
	成果目標	開発点数 平成24～25年度 20点 (平成26～27年度 20点)						
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■商品のリデザインと試作 既存参加のチームを基に参加チームを募り、プロデューサー指導のもとデザイナーとデザイン開発を行い、試作を繰り返した。 ■販売ツール作成と広報活動 開発品の撮影等を行いパンフレットを作成。HP等で展示会等について告知を行いPRIに努めた。 ■展示会への出展 「東京インターナショナルギフトショー」(2月)に出展。多数の来場者の反応を確かめ、営業活動を行った。 ■商品化の模索 再試作等を実施し、各展示会出展等での反響先を中心として、営業活動を継続。販路開拓作業を継続実施した。 		
		大施策	(3) 地域産業を支える知的経営資源の活用強化					
		中施策	②産学官・産業間・企業間の交流と連携の推進					
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等 (事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項				
	基本方針	(1) マーケットを重視した事業展開の推進						
	基本施策	④地域・伝統産業の近代化推進						
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> ■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業係 		事業担当 (記載事項) 改善点・ 目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ■改善点等 ①商品化率の向上のため、2年継続事業を単年度事業とした。 ②事業期間の短縮に対応するため、開発チームは既存の参加チームより選出し、また既存開発品をベースにリニューアルを行うなど効率化に努めた。 ③流通化をより高めるため、首都圏での見本市出展を毎年行うこととした。 				
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係							

事業 30	ものづくり 基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策5)多様な分野との新たな連携や取組みへの支援		平成26年度			
	事業名	新産業開発振興機構の活用に関する 検討		予算額	5,840千円		
				決算見込額	5,840千円		
	事業概要	<p>これまでの新産業開発振興機構の活動実績を踏まえつつ、今後の市内ものづくり事業者との新たな連携を含めた活用の検討を推進する。</p> <p>同機構は、会員企業の技術や販路等に関する経営資源のハイブリッド化を図り、時代のニーズに応じた「ものづくり」や「ビジネスモデル」の研究に取り組む本市の重要な地域資源の一つである。</p> <p>そのような機構の事業概要は、産産連携及び産学連携による新産業創出に向けた研究開発をはじめ、新産業レポートなどの情報発信、県内学術研究機関(静岡大学、静岡県立大学等)との交流事業、講習会等の研修事業などを幅広く展開している。</p> <p>このように市内の中小企業が多数参加する当機構の連携を模索する中では、これまでにない業界との連携を視野に入れ、本市のものづくり産業における新たな展開の検討を進める必要がある。具体的には、深刻な後継者不足等を抱えながらも、若手クラフトマンの育成などにも尽力する伝統工芸分野とのコラボレーションも当該機構の新規展開事業として、その一つの選択肢に含まれるものとの期待から事業化が図られた経緯がある。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>地域企業の「産産連携」と「産学連携」を推進した。</p> <p>産産連携では、しみず新事業創出研究会を中心に会員相互の情報提供や意見交換を通じ、地域の知的資産のハイブリット化を目指した。</p> <p>産学連携では、駿河湾地域事業化プロジェクトから生まれたシーズの支援をし、植物環境ストレス耐性向上技術を活用した肥料を販売中である。</p> <p>また、日本国特許(第5544450号、平成26年5月16日登録)、オーストラリア特許許可通知(H27年1月29日許可)を取得した。海外は米国ほか数国に出願・審査中。</p>	
				進捗率等	H26.9.1 現在		
					H27.3.31 現在		
	成果目標	新産業開発振興機構の活用の検討		事業 評価	事業結果	<p>■産業振興課</p> <p>伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携について、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との打合せを実施した。結果としては、両者のマッチングに困難な側面はあるものの、今後も継続的な協議を進めていくものとする。</p> <p>■産業政策課</p> <p>地域企業の産産連携・産学連携による新事業創出を目指す同機構に対し、財政的な支援をすることで、会員企業の新規開発テーマの情報提供として、大学等のシーズ紹介を主な内容とした産学官交流会(4月・6月・7月・9月・10月・11月・1月)の開催等、会員企業に対し、新事業創出のきっかけを提供する事業が行なわれてきた。</p> <p>今後同機構の支援を通じて、会員企業を中心とした地域における産産連携・産学連携を推進していきたい。</p>	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針				次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>■産業振興課</p> <p>次年度においても、静岡商工会議所機構事務局及び静岡特産工業協会との協議を継続し、伝統工芸を含む地場産業と新産業開発振興機構との連携を模索する取組を推し進めていく。</p> <p>■産業政策課</p> <p>引き続き新しい事業の創出につながる機会の提供、会員企業等への効果的な支援等が行われるよう同機構に求めていく。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興 プラン 位置付け	基本方向						
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 総務係 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 31	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6) 研究開発や事業化等に関する支援		平成26年度			
	事業名	地域課題に係る産学共同研究への支援		予算額	指定管理料87,702千円の一部		千円
				決算見込額	指定管理料87,702千円の一部		千円
	事業概要	経済環境の変化に伴い生じている高度で複合的な地域課題を解決するため、地域や産業界が大学の知識・人材・分析能力を生かして共同で取り組む調査・研究に対する委託事業を実施します。		取組状況 H26.9.1 現在	【産学交流センター】 地域課題に係る産学共同研究委託事業:委託研究数 7件 ・オウシズの静岡在来蕎麦を活用した地域戦略商品の開発 ・口腔機能維持・改善に有効な訓練胎に関する研究開発 ・マグロ加工残渣からの高機能性DHA・EPA含有油脂の抽出・濃縮技術の開発 ・静岡県産シラスを用いた新鮮チルド製品の開発 ・耐暑性向上による花色・花形・香りに優れたバラ生産技術とアロマ製品の開発 ・廃石膏ボードからの新規な有価物回収システム ・徳川家康公フィギュアの開発 (委託期間)委託締結日(平成26年7月初旬)~平成27年2月28日 (成果発表)平成26年3月中旬予定		
		補足事項	進捗率等		H26.9.1 現在	(産学共同研究数) H26 / 7件	(産学共同研究数) 120.0 (%)
	成果目標	産学共同研究数 15件 / 3年		H27.3.31 現在	(産学共同研究数) H24 / 5件 H25 / 6件 H26 / 7件 計 / 18件	(産学共同研究数) 120.0 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		事業結果	【産学交流センター】 地域課題に係る産学共同研究委託事業:委託研究数 7件 ・オウシズの静岡在来蕎麦を活用した地域戦略商品の開発 ・口腔機能維持・改善に有効な訓練胎に関する研究開発 ・マグロ加工残渣からの高機能性DHA・EPA含有油脂の抽出・濃縮技術の開発 ・静岡県産シラスを用いた新鮮チルド製品の開発 ・耐暑性向上による花色・花形・香りに優れたバラ生産技術とアロマ製品の開発 ・廃石膏ボードからの新規な有価物回収システム ・徳川家康公フィギュアの開発 (委託期間)委託締結日(平成26年7月初旬)~平成27年2月28日 (成果発表)平成26年3月13日	
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進				
		中施策	③創業と新事業展開の推進				
	産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出・育成		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	地元中小企業ニーズと大学シーズのマッチングは要望もことから、事業をするともに、委託費の見直しを要望する声が多くあるため、予算の範囲内で新たな、事業の拡充を目指す。
基本方針		(2) 新事業展開や製品・技術・研究開発の支援					
基本施策		①産学官、異分野交流・連携の推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)				

事業 32	ものづくり基本計画	(方針3) 連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6) 研究開発や事業化等に関する支援		平成26年度			
	事業名	大学等研究成果の技術移転の推進		予算額	500千円		
				決算見込額	447千円		
	事業概要	中小企業と大学との「共同研究」、 大学から中小企業への「技術移転」等 産学官連携による新産業・新事業の 創出に向けた支援を行う技術移転機 関に対する助成を行います。		取組 状況	H26.9.1 現在	<p>■業務委託団体：静岡技術移転合同会社 大学等における技術に関する研究成果の民間事業者への移転の促進に関する法律第3条第4項に基づき、文部科学大臣及び経済産業大臣より実施計画の承認を受けた、県内に所在地を有する唯一の団体（承認TLO）。</p> <p>県内大学等（静岡大学、浜松医科大学、静岡県立大学、静岡理科大学、沼津高専、国立遠伝学研究所）との連携により、「産学間における円滑な技術移転の促進」を目的としている。</p> <p>・マッチング会、講演会、技術相談会0件（10月・3月開催予定）</p>	
		補足事項			進捗率等	H26.9.1 現在	
					H27.3.31 現在		
	成果目標	技術移転機関への助成		<p>・マッチング会の実施2回 ◎産学官マッチング会2014in静岡（1回目） 日時：平成27年10月15日 13:00～ 場所：ツインメッセ静岡 内容：産学官連携講演会 「フーズ・サイエンスセンターにおける企業支援」</p> <p>◎研究シーズ発表 「超高感度SQUID磁気センサーを用いた食品内金属異物検査装置の開発」 「食品を薬学的観点から考える」 「植物由来成分および電解水を利用した新規食中毒制御法の開発」 「低温に弱い成果物を収穫後の処理でなんとか強くできないものか」 その他：名刺交換、技術相談、交流タイム</p> <p>◎産学官マッチング会2014in静岡（2回目） 日時：平成27年3月11日 13:00～ 場所：清水産業情報プラザ 内容：産学官連携講演会 ①「宇宙エレベータの研究開発とその技術検証」 ②「ものづくり企業の成長戦略」</p> <p>◎研究シーズ発表 「ダイカスト、樹脂射出成形用金型の高機能化の実現」 「計測分野に向けた高距離分解能Time-of-Flight型距離イメージセンサ」 「（三次元）樹脂積層造形システムのご紹介」 その他：名刺交換、技術相談、交流タイム</p> <p>・ニーズ調査（アンケート調査）随時</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を旨とした産業構造の知的高度化		事業 評価	<p>事業結果</p> <p>◎産学官マッチング会2014in静岡（2回目） 日時：平成27年3月11日 13:00～ 場所：清水産業情報プラザ 内容：産学官連携講演会 ①「宇宙エレベータの研究開発とその技術検証」 ②「ものづくり企業の成長戦略」</p> <p>◎研究シーズ発表 「ダイカスト、樹脂射出成形用金型の高機能化の実現」 「計測分野に向けた高距離分解能Time-of-Flight型距離イメージセンサ」 「（三次元）樹脂積層造形システムのご紹介」 その他：名刺交換、技術相談、交流タイム</p> <p>・ニーズ調査（アンケート調査）随時</p>	
		大施策	(1) 地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進				
		中施策	③創業と新事業展開の推進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等			
	基本方針	(2) 新事業展開や製品・技術・研究開発の支援					
	基本施策	①産学官、異分野交流・連携の推進					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6)研究開発や事業化等に関する支援		平成26年度	
事業名	産業構造の将来予測等に関する調査研究の検討	予算額		千円	
		決算見込額		千円	
事業概要	<p>今後、ものづくり産業に関する施策形成等に関して、産業の空洞化等を含めた将来予測を試み、基礎データの蓄積と活用に関して検討する。</p> <p>歴史的な円高等に見るグローバルな経済動向により、我が国の製造業を中心とするものづくり産業では各地で空洞化が進行するほか、電力不足が懸念されるなど憂慮をいとわない経済環境にある。静岡市のものづくり産業も同様であり、生産拠点の海外移転などを試みる中小製造事業者が多数見られ、今後の静岡市におけるものづくり産業の将来に不安を否めない状況にある。このような現状を踏まえ、静岡市のものづくり産業の振興を図る上では、今後のものづくり産業の動向及び構造等に関する将来予測を検討し、一定のスケールモデルを得て、それを見定める中で必要な施策展開などを考えていく必要性から事業化を図った経緯がある。</p>	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■将来予測等に関する基礎資料の集積に向けて</p> <p>今後、基本計画の見直しや次期基本計画の策定に向けて、必要不可欠な本市ものづくり産業の将来予測等に関する基礎資料を整えるため、次のとおり、県内の経済及び経営に関する大学の教員に協力を依頼して、予測モデル等の検討を進めているところである。</p> <p>①事業期間 平成26年4月～平成27年3月 ②対象大学 静岡大学、静岡県立大学、静岡産業大学等 ③参加人数 教授または准教授クラスの教員等 ④事業経費 報償費等 ⑤その他 調査研究部会との連携協調など</p>	
		進捗率	H26.9.1 現在	(%)	
			H27.3.31 現在	(%)	
成果目標	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成	事業評価等	事業結果	<p>今年度の取組としては、昨年度に引き続き、本市の製造業に関する将来動向に関して、工業統計等に基づくトレンド及び確率論からの予測に取り組む。さらに、本市の製造業に関する「強み」を把握する観点からは、昨今のビッグデータの解析などにも幅を広げて調査を実施した。</p> <p>従業者数に関するビッグデータの解析結果からは、本市の電気機械器具製造業、食品製造業、家具・装備品製造業の3分野が収益性が高い分野であることがわかった。こうした分野については、第2次静岡市ものづくり産業振興基本計画の策定について、重点的な支援分野として取り扱うことが望ましいとの結論に至った。</p>	
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			<p>（事務担当） 記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	■特になし
	大施策				
	中施策				
産業振興のプラン位置付け	基本方向	<p>（事業担当） 記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■関係機関等との連携</p> <p>少しでも制度を上向かせるためには、引き続き大学等との連携が必要であるため。今後も昨年度の連携基盤を基本としながら、知見収集等に努めていきたい。</p>		
	基本方針				
	基本施策				
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業振興課総務係</p>				
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 総務係</p>				

事業 34	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6)研究開発や事業化等に関する支援		平成26年度			
	事業名	地域間競争に臨む戦略的方策等の検討	予算額	0千円			
			決算見込額	0千円			
	事業概要	<p>地域間競争の激化が想定される昨今において、他地域に先んじた本市ものづくり産業の生き残り戦略に関し、本市の強みを活かして検討する。</p> <p>全国各地の製造業を中心とするものづくり産業(産業がクラスター化された地域等を含む)にあつては、今後ますます地域間あるいは都市間競争の激化が想定される。</p> <p>そのような状況を踏まえて、本市のものづくり産業の振興を図る上では、事業33の産業構造の将来予測等に関する調査研究検討事業で得られたスケールモデル等の知見を活かすとともに、本市の強みを考慮しながら、本市ならではの生き残り戦略の検討が必要ことから事業化が図られた経緯がある。</p> <p>その他、研究開発・人材育成・人的ネットワークの形成などに関する理工系大学等の誘致やものづくり先進都市等の取り組みにいても、地域間競争に臨む戦略的方策を検討する上での重要な要素と考えられる。</p>	取組状況	9.1現在	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画策定案の検討</p> <p>本市ものづくり産業の振興を図るためには、本市の強みをさらに強化することで地域間競争に対応を図ることが重要である。本市の強みについて、従業者を基本に捉えた場合、電気機械器具製造業や食品製造業などが地域を支える基盤産業といえる。</p> <p>一方、古くから地域で培われた伝統工芸をはじめ、造船、金属機械、家具等の木材加工業なども、本市のものづくり産業を捉える上で重要な業種である。</p> <p>本市としては、こうした地域を支える基盤産業や地場産業などが抱える課題への対応を図るため、ニーズへの支援策を展開することで、それぞれの業種分野が成長していく環境を醸成することが重要である。</p>		
			進捗率	9.1現在			
				3.31現在			
	成果目標	3年間検討し、調査研究結果を報告書として作成		事業結果	<p>■第2次ものづくり産業振興基本計画策定案の答申</p> <p>平成25年10月、ものづくり産業振興審議会に策定案の検討を諮問した以降において、審議会では伝統工芸を含む地場産業をはじめ、地域を支える基盤産業などについても、地域間競争に臨む観点から審議を実施してきた。</p> <p>平成26年11月、これまでの審議の集大成として、審議会から策定案が答申された。その後、本市としては、地域間競争に勝ち抜くための方策と位置付ける第2次ものづくり産業振興基本計画を検討し策定した。</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当)記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	<p>■基本計画の進捗管理</p> <p>基本計画の実効性を高める意味からも、策定後の進捗管理は、PDCAサイクルのもと、着実な管理を実施する必要がある。</p> <p>■経済情勢等への対応</p> <p>本市ものづくり産業を取り巻く経済情勢については、グローバルな観点から多分に影響を受けるものと推察される。そのため、経済情勢の変動を把握するとともに、それに伴う影響への対応策などを迅速に検討できるように準備しておく必要がある。</p>
		大施策					
		中施策					
産業振興のプラン位置付け	基本方針		<p>(事業担当)記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■ものづくり産業界との関係構築の強化</p> <p>ものづくり産業界への支援展開は、第3次総合計画に掲げる人口70万人の維持に資するとともに、本市が地域間競争に勝ち抜くための重要な施策である。そのため、関係産業界のニーズや動向を迅速かつ的確に把握することが求められている。こうしたことから、ものづくり産業界との関係性を更に強めていくことが重要である。</p>			
	基本方針						
	基本施策						
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 産業振興課総務係</p>						
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 総務係</p>						

事業 35	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6)研究開発や事業化等に関する支援		平成26年度				
	事業名	ものづくり先進都市等に関する調査研究		予算額	千円			
				決算見込額	千円			
	事業概要	<p>ものづくり産業の将来展望を模索する上でも、先進都市の動向などを調査研究し、今後の産業別計画及び次期基本計画の策定に向けた基礎資料の整備とものづくり事業者等への情報提供に資することを検討する。</p> <p>具体的には、計画期間の各年度で1都市を対象として、必要に応じて審議会委員の同行のもと実施される。</p> <p>平成24年度では、政令指定都市の北九州市を対象に、官営製鉄所からの公害発生とその克服、そして、環境技術を基盤とした新たな動向に加え、地域に残る伝統工芸等に関する施策を含めて調査を実施した。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>■視察調査先の検討</p> <p>昨年度までの調査都市を踏まえ、今年度は、中小製造事業者への支援に関して、産業振興を推進する団体と市が連携して支援する現場等を調査したいと考えている。</p>		
				進捗率	H26.9.1 現在	(調査都市数)	(%)	
					H27.3.31 現在	(調査都市数)	(%)	
	成果目標	3都市／3年 (調査研究報告書の作成)		事業結果	<p>■川崎市の調査研究実施概要</p> <p>川崎市の中小製造事業者に対する支援は、川崎モデルと称されるほど、全国的に有名である。川崎モデルは、川崎市、川崎市産業振興財団、川崎市商工会議所が連携を図る中、企業訪問を積極的に実施して、徹底的に企業ニーズを把握するとともに、ニーズに対応した支援策を関係者総出で展開する点にある。本市ではこうした川崎市の支援体制に学びを得るため、今年度の調査対象都市を選定し、2回にわたって視察調査を実施した。</p> <p>①調査日 11月4～5日(火・水)、12月19日(金) ②調査先 川崎市役所、川崎市産業振興財団、川崎市商工会議所、支援先の中小企業製造事業者人材の育成及び供給に関する事業者 など ③実施者 産業振興課職員(3人)、静岡大学経済学科学准教授 静岡産業大学経営学科学准教授 静岡県立大学経営情報学部教授 計6人</p>			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等	<p>(事務担当)記載項目</p> <p>所属部会からの意見及び指摘事項</p>	■特になし	
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		<p>(事業担当)記載事項</p> <p>改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>■調査結果の施策への反映</p> <p>川崎市で実施されている中小製造事業者への支援施策については、参考すべき点が多くあったため、翌年の事業展開に反映させていきたい。その他についても、中小製造事業者に接する職員の姿勢や志などが非常に印象的であったので、こうした点は、今後の課内における職員のOJT等の人材育成において、意識的に取り組んでいきたい。</p>				
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■調査研究部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業振興課総務係</p>							
事業担当課等	<p>経済局商工部 産業振興課 総務係</p>							

ものづくり基本計画		(方針4)ものづくり産業を育てる環境整備 (施策7)企業の誘致及び市内留置の促進		平成26年度		
事業名	企業立地の推進	予算額	440,000 千円			
		決算見込額	207,560 千円			
事業概要	助成制度の強化、遊休・未利用地の再編、留置活動の総合的な取組みにより企業立地を推進します。	取組状況 H27.9.1 現在	<p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、用地情報を市HPに掲載し、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借、富士山静岡空港関連事業のほか、企業立地促進法に基づく「事業高度化計画」について、県知事の承認を得た中小企業の機械設備設置事業に対する助成制度の活用を促進している。</p> <p>(7月31日時点の取組状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規企業立地件数 3件 ・市内企業訪問 232件 ・市外企業訪問 27件 ・企業立地相談件数 116件 			
			補足事項	進捗率等	H27.9.1 現在	(新規企業立地件数)
			H27.3.31 現在	(新規企業立地件数) H26 / 17件	121.4 (%)	
成果目標	新規企業立地件数 14件/年 (企業立地戦略指針) 平成20～24年度 70件/5年		事業結果	■新規企業立地件数 17件		
総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化		<p>市内企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、企業立地を促す情報提供や助成制度の提供により、企業立地の促進に努めている。</p> <p>市内の不動産情報を収集・提供する制度を設け、用地情報を市HPに掲載し、市内に立地を希望する企業等に対し、情報を提供しマッチングを進めている。</p> <p>工場立地や事務所賃借、富士山静岡空港関連事業のほか、企業立地促進法に基づく「事業高度化計画」について、県知事の承認を得た中小企業の機械設備設置事業に対する助成制度の活用を促進している。</p>		
	大施策	(1)地域の特性を活かした多彩な産業の集積促進		<p>(参考事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業訪問 571件 (平成27年3月末) ・市外企業等訪問 91件 (") ・企業立地相談件数 351件 (") 		
	中施策	①企業の誘致と留置の促進				
産業振興プラン位置付け	基本方向	3 次代を担う産業集積の構築	事業評価			
	基本方針	(2)物流クラスターの強化・・・※1 (3)企業等の誘致・留置・・・※2		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
	基本施策	※1 ③低・未利用地の活用促進 ※2 ①県外企業等の誘致の推進 ②市内企業等の留置の推進		本市特性及び企業ニーズ等に対応した補助拡充の検討		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他(特記事項)			

事業 37	ものづくり基本計画	(方針4)ものづくり産業を育てる環境整備 (施策8)情報と窓口の一元化に向けた事業者支援体制の整備		平成26年度		
	事業名	国、県、民間の産業支援機関や団体と連携した支援		予算額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部	
				決算見込額	産学交流センター指定管理料87,702千円及び 清水産業・情報プラザ指定管理71,631千円の一部	
	事業概要	国・県・民間の産業支援機関との連携・協力を得て、これら各機関の様々な情報を一元化し、ホームページや紙媒体の配置により利用しやすい方法で支援情報を提供します。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>(産学交流センター) 産学交流センターのHPのトップページでは、「各種公募・補助金情報」、「イベント情報」、「講座・セミナー一覧」の各コーナーにおいて国・県・他の産業支援機関の各種情報を提供しており、ビジネスに役立ちそうな情報を一元的に提供している。</p> <p>(清水産業・情報プラザ) リンク集より、国・県等の産業支援機関のトップページにリンクできるようにしている。金融機関等、多くの組織をリンク先として案内している。</p>	
		補足事項			進捗率等 H26.9.1 現在 H27.3.31 現在	
	成果目標	市産業支援施設ホームページ等における情報提供の推進		事業評価	<p>(産学交流センター) 産学交流センターのHPのトップページでは、「各種公募・補助金情報」、「イベント情報」、「講座・セミナー一覧」の各コーナーにおいて国・県・他の産業支援機関の各種情報を提供しており、ビジネスに役立ちそうな情報を一元的に提供している。</p> <p>この他、月2回メルマガ配信、Facebookページやブログによる情報発信、季刊誌FACE4回発刊、B-nest地下通路・7階ラウンジ各ショーケースにて産学交流センター各種事業の情報提供を実施。</p> <p>(清水産業・情報プラザ) リンク集より、国・県等の産業支援機関のトップページにリンクできるようにしている。金融機関等、多くの組織をリンク先として案内している。</p> <p>また、地域情報誌等に施設の広告を掲載し、情報提供を実施。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
	産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	より効果的な情報収集・発信となるよう、本市のみでなく自治体の広域連携も見据えた対応を検討していく。 また、市以外の支援機関との連携による支援については戦略産業振興プラットフォームにて支援していく。	
基本方針		(2) 新事業展開や製品・技術・研究開発の支援				
基本施策		② 専門的な産業支援機関との連携による支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)			

事業 38	ものづくり基本計画	(方針3)連携を活かした新たな取組みの推進 (施策6)研究開発や事業化等に関する支援		平成26年度		
	事業名	中小企業の事業継続計画策定に関する支援		予算額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部	
				決算見込額	中小企業支援センター運営補助金32,860千円の一部	
	事業概要	<p>事業継続計画(BCP)の策定に向けて中小企業を対象とした情報提供や講座等による各種支援を実施します。</p> <p>優良製造事業所へのヒアリングに際して、東日本大震災後におけるBCPの策定状況について尋ねたところ、策定済と回答した事業所は少なく、ほとんどの事業所が策定中、検討中、未着手、予定なしとの反応であった。</p> <p>しかしながら、いずれの事業所もBCPには関心が高く、できれば策定に結び付けていきたいとの意向も一方で確認された。総じて、BCP策定への対応に関しては、優良事業所でも対応に苦慮する状況が把握されたことから、それ以外の中小企業においても、同様に重要な経営課題の一つと推測されるため、基本計画の事業として登載した経緯がある。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	(中小企業支援センター) BCP策定に関する個々の支援ニーズに対しては、中小企業支援センター等の窓口相談や事業所への専門家派遣により対応している。(平成25年9月1日現在で利用実績なし。)
				進捗率等	H26.9.1 現在	
					H27.3.31 現在	
	成果目標	情報提供、講座等の実施		事業 評価	<p>■産業振興課 BCP策定の促進に関して、セミナー以外の情報提供等について検討を行った。具体的な施策等には至らなかったものの、BCP策定の推奨に関して、専門家等による厳格な審査のもと、当該事業所を認証することに加え、地域金融機関に審査基準や認証事業所の周知を図ることによって、地元中小企業の支援に結び付けていければとの結論に至った。詳細は、今後の検討による。</p> <p>■産業政策課 (中小企業支援センター) BCPに関する専門家派遣を2件実施した。</p> <p>(その他) 静岡県BCP研究会定例会(計3回)に出席した。また、BCPに関するセミナー2件に参加した。</p>	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プランの位置付け	基本方向					
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 総務係 産業政策課 新産業係		その他(特記事項)	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>■産業振興課 事業結果をもとに、次年度では、BCP策定の推奨に向けて、認証制度等の詳細を検討していきたい。</p> <p>■産業政策課 清水産業・情報プラザの製造現場改善支援事業において、BCP策定を支援コースに含めているが、0件の実績に留まったため支援メニューにBCP策定コースがあることを周知していく。</p>		

方針等区分		(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 10) ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成26年度				
事業名	次世代育成プロジェクト事業	予算額	3,767千円					
		決算額	3,228千円					
事業概要	登録された市内のさまざまな専門家等(スペシャリスト)の学校への講師招聘や、市立全小中学校における自立を含む職業体験学習推進事業等を実施します。	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■「民間教育力活用事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校の教育計画に沿って、子どもたちの体験的な学習や問題解決的な学習を充実させるため、外部講師(民間教育力)を導入する。 地域の無償ボランティアの活用拡大、学校応援団事業との連携強化や将来的な統合を視野に入れて、事業を見直し、事業改善計画を検討する。 <p>■「自立を育む職場体験学習推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校において、連続3日間以上の職場体験学習を実施する。 教育委員会が、職場体験学習の受入事業所数の拡大を図るとともに、学校と事業所間の連絡調整を補助する。 				
			進捗率	H26.9.1 現在	①民間講師活用件数 85件 (民間講師活用件数) 21.3 ②職場体験学習の実施 37校 (職場体験学習の実施) 86.0 ③掲載事業所数 199事業所 (掲載事業所数) 132.7 (%) (新規登録事業所数0件)			
	補足事項		H27.3.31 現在	①民間講師活用件数 462件 (延べ2,300人) (民間講師活用件数) 115.5 ②職場体験学習の実施 43校 (職場体験学習の実施) 100.0 (%) ③掲載事業所数 214事業所 (掲載事業所数) 142.7 (新規登録15事業所)				
事業	成果目標	○スペシャリスト派遣事業 60件以上 (※平成24年度で終了、民間教育力活用事業へ継承) ①民間講師活用人数 400人以上 (2,100人以上) ②連続3日間以上の職場体験学習の全校実施 ③職場体験学習受入事業所リスト掲載事業所数 150事業所 (新規登録3件以上)		<p>■「民間教育力活用事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師活用件数は、462件。 各学校から要請に対し、延べ2,300人の講師が様々な教育活動に参加した。 本事業と学校応援団事業の課題や方向性について両担当課で確認し合い、今後の事業検討に向けて準備を始めた。これまでの事業実績から、学校のニーズが高い人材を洗い出して人材リストを拡大した。 <p>■「自立を育む職場体験学習推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 全中学校で連続3日間以上の職場体験学習を実施した。 受入事業所について新たに15事業所を登録した。 キャリア教育担当者会で、本市の小・中学校の共通課題を明確に示した。熱心なグループ協議がなされ、各校における改善の視点について意識化が図られた。 				
	総合計画の位置付け(分野別)Ⅱ文化・学習	政策方針	3 次代を担う人材の育成と環境の整備				事業結果	事業評価
		大施策	(1) 子どもたちの「生きる力」をはぐくむ教育の推進					
		中施策	⑦地域性を活かした特色ある教育の推進					
産業振興プランの位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■「民間教育力活用事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して、地域の教育支援環境の拡大や整備、保持が必要である。 学校応援団事業との将来的な統合を視野に入れて、事業改善に努める。 <p>■「自立を育む職場体験学習推進事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育担当者会を通して、本市のキャリア教育の重点について、より一層理解を深める必要がある。 				
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり						
	基本施策	①起業家精神の醸成						
担当課等	教育委員会事務局 教育局 学校教育課 企画管理係		その他(特記事項)					

事業 40	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10)ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成26年度				
	事業名	こどもクリエイティブタウンの整備		予算額	109,581 千円			
				決算見込額	107,848 千円			
	事業概要	仕事やものづくり体験ができる施設を整備し、地域企業や商店街、学校、市民活動団体等と一体となり、子どもたちの創造力の育成を目指します。		取組状況	H26.9.1 現在 ■模擬店舗等における仕事やものづくり体験の事業 こどもバザールの企画運営(11店舗) ちびっこファクトリーの企画運営(30回)開催 ■創造力の育成を目標とする講座、研修等の実施 こども会議・店長研修等の実施(5回)開催 こどもファクトリーの企画運営・講座等(こどもファクトリー30回)(講座140回)開催 ものづくりプロジェクトの企画運営(おばけやしきプロジェクト)クリエイティブクラブの企画運営(ミニロボ・新聞クラブ) ■創造力の育成を目的とする展示及び情報発信の事業 企画展の実施(9月25日～10月21日開催予定)他 ライブラリーの運営(136冊)しごとツリーの運営(5回更新) ■学校等の団体利用に関する事業(29団体946人) ■記念イベントの企画運営(1月に開催予定) ■企業・商店街・NPO・大学等のニーズ把握や連携(1月開催予定)			
				進捗率等	H26.9.1 現在			
					H27.3.31 現在			
	成果目標	平成25年1月開館 (指定管理者による運営)		事業 評価	■模擬店舗等における仕事やものづくり体験の事業 こどもバザールの企画運営(12店舗) ちびっこファクトリーの企画運営(95回)開催 ■創造力の育成を目標とする講座、研修等の実施 こども会議・店長研修等の実施(19回)開催 こどもファクトリーの企画運営・講座等(こどもファクトリー95回)(講座261回)開催 ものづくりプロジェクトの企画運営(おばけやしきプロジェクト)クリエイティブクラブの企画運営(ミニロボ・新聞クラブ) ■創造力の育成を目的とする展示及び情報発信の事業 企画展の実施(静岡ではたらくおとな展9月～10月開催) ライブラリーの運営(345冊) しごとツリーの運営(12回更新) ■学校等の団体利用に関する事業(95団体3,615人) ■記念イベントの企画運営(2年目のまある:1月開催) ■企業・商店街・NPO・大学等のニーズ把握や連携(はじめての商店街:1月開催)			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援					
		大施策	(1)地域経済を何う多様な人材の活用と育成					
		中施策						
産業振興プラン位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	・利用者数を増加については今後の課題である。 ・利用者数の確保にあたっては、平日を中心とした学校の団体利用や幼稚園・保育園等の利用促進とソフト面の充実化を図る。			
	基本方針	(4)次代を担う人づくり						
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画係		その他(特記事項)					

方針等区分		(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10) ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成26年度	
事業名	高校生のインターンシップ事業	予算額	1,023 千円		
		決算額	540 千円		
事業概要	<p>学生が在学中に職業体験を行うインターンシップ制度の普及・啓発に取り組みます。</p>	取組状況	H26.9.1 現在	<p>■対象 市内高校の2年生</p> <p>■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 99人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 48事業所</p> <p>■執行額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 540,000円</p>	
	補足事項	<p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓を行うとともに、実施期間や職種を希望校(生徒)が選択できるよう充実した内容にしていきます。</p>	進捗率	H26.9.1 現在	(%)
成果目標	参加者 90人/3年		H27.3.31 現在	(参加者数) H24 / 86人 H25 / 98人 H26 / 99人	(実施生徒数) 104.8 (%)
総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援	事業評価	<p>■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 6校 ②実施生徒数 99人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所 81事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 48事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高校全校</p>	
	大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援		<p>前年度同様、インターンシップ生と受け入れた企業の双方にアンケートを実施し、自己評価と他者評価を見比べる手法を取り入れ、それらをインターンシップ生にフィードバックすることで、高校生の就業意識向上に役立った。</p> <p>受入企業の開拓に苦慮している学校向けに、企業の受入リストの提示を行う等、各校の実態に合わせたコーディネートを実施した結果、今年度は前年度以上の参加者を確保した。来年度以降においても、より多くの参加を促していきたい。</p>	
	中施策	①企業と人材のマッチング			
産業振興プランの位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>		
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり			
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養			
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他(特記事項)			

事業 4.2	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進	平成26年度			
	事業名	体験型観光プログラムの開発と誘客の推進	予算額	4,300 千円		
			決算見込額	4,300 千円		
	事業概要	地域産業を生かし、茶摘み、森林産業、漁業、伝統工芸品づくりなど体験観光プログラムを開発するとともに、旅行代理店を通じて海外や首都圏等にセールスし、教育旅行や観光客の増加を図ります。	取組状況 H26.9.1 現在	<p>■静岡型体験観光推進事業補助金による支援 静岡市内における体験教育旅行を受け入れている任意団体「しずおか体験教育旅行」の活動に対して助成を行う。 (平成26年度予算額 4,000千円) 「しずおか体験教育旅行」は、実際に担当の先生方に、本市ならではの体験プログラムを体験していただくモニターツアーや体験型観光ツアーの実施、県内外における誘致活動を行ったほか、教育旅行の受付窓口として、各種体験プログラムの取りまとめなど、学校や旅行エージェントとの調整等を行っている。</p> <p>■誘致活動の実施 市、しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会の共同で、国内外へ教育旅行の誘致活動を実施している。 (平成26年度予算額 300千円) しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会等と共同で、首都圏の小中学校への訪問・誘致活動や台湾での現地商談会へ参加し、本市の体験プログラムのPRを実施する。</p>		
				補足事項	進捗率	<p>(訪日教育旅行誘致件数) 9件 台湾9件 112.5 (%)</p>
	成果目標	(参考) 首都圏や海外からの教育旅行の誘致推進 ・訪日教育旅行誘致件数 8件/年 体験プログラム実施数 ・3,830件/H22~H26計	H27.3.31 現在	<p>①訪日教育旅行誘致件数 12件 (訪日教育旅行誘致件数) (台湾12件) 150.0 ②体験プログラム実施数 (体験プログラム実施数) 4,610件/H22~H26 120.1 (H22~26計) (%)</p>		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化	事業評価	<p>【市】 ①しずおか体験教育旅行に対して補助金を支出した。 ②しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会と共同で誘致宣伝活動を実施した。</p> <p>【しずおか体験教育旅行】 国内外からの教育旅行誘致のため、下記の宣伝・誘致活動や体験プログラムの充実に向けた取り組み等を行った。 ・来静を予定・検討している教育関係者による実踏調査への同行 4月24~25日(八王子市内小学校、教育委員会から24名参加) ・首都圏等の学校の先生や教育関係者、旅行会社を対象としたモニターツアー 11月1日(日本平・三保周辺の体験施設等) 1月18日(岡河内地区の体験施設等) ・首都圏等への学校訪問・誘致活動 11月26~28日 八王子、横浜市内の小中学校訪問 12月15~17日 横浜市内の小中学校訪問 1月20日~22日 名古屋市内の小学校等訪問 ・台湾現地商談会への参加及び現地旅行会社訪問 6月3~5日 台北・台南・高雄の3都市で実施 ・台湾教育旅行関係者招請事業における商談会 12月12日 台湾教育旅行関係者約80名</p>	
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地			
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信			
	産業振興プランの位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興	<p>次年度に向けた改善点 ・目標の未達成理由等</p>	<p>国内の教育旅行について、中京圏の小中学校から静岡体験教育旅行への問い合わせが依然多い状況にあることから、平成27年度も中京圏に対し誘致活動を実施していく。また、首都圏等の学校に対しては継続して誘致活動を行っていく。 海外の教育旅行について、台湾への継続的な誘致活動を行うとともに新規開拓先としてオーストラリアへの誘致活動を行っていく。 平成28年度にオーストラリアで日本語学校の教育関係者が集まる会議があり、訪日教育旅行誘致のプレゼンテーション、ブース出展が可能であるため、平成27年度に体験メニュー等の静岡市独自のプログラムをまとめたプレゼン資料を作成などの準備を進めていく。</p>	
基本方針		(1) 地域資源の観光活用				
基本施策		①体験型観光の振興				
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興係	その他(特記事項)	「体験型観光プログラムの開発」については事業43での取り組みと密接な関わりがある。			

事業 43	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
	事業名	産業観光等のニューツーリズムの推進		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	お茶や伝統工芸などの豊富な産業資源を活用し、産業・体験型観光を活性化し、他地域との差別化を行い観光交流客の増加を図ります。		取組状況	H25.9.1 現在	■産業観光の推進 「感動」「体験」などの観光トレンドを追い風にして、地域の強みである産業資源を活用した観光メニューの開発と観光客受入の準備を推進する。	
		補足事項			進捗率	H25.9.1 現在	(%)
						H26.3.31 現在	(%)
	成果目標	関係団体等との連携強化による体験プログラムの開発及び充実		事業 評価	【静岡県中部地区観光協議会】 静岡県中部地区観光協議会において、推進体制を産業と食ツーリズム、スポーツツーリズム、教育交流を検討する3ワーキンググループ体制とし、産業観光をはじめ、グルメやお茶、スポーツやサイクリングなど様々なテーマ別観光メニューの推進を検討した。スポーツツーリズムの推進においては、島田市および大井川鐵道株式会社と共同で、サイクルトレインの導入に向けてのモニターツアーを実施した。		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化				
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地				
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信				
産業振興プランの位置付け	基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等				
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用					
	基本施策	①体験型観光の振興					
担当課等	観光交流文化局 観光交流課 観光振興係		その他(特記事項)				

事業 4.4	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
	事業名	経済セミナー等の開催		予算額	指定管理料 50,536千円の一部		
				決算見込額	指定管理料 50,536千円の一部		
	事業概要	<p>クリエイター支援センター等の本市の産業支援施設において、国内外の一流の産業人等によるセミナー、ワークショップ等を開催します。</p>		取組状況	H26.9.1 現在	<p>(静岡市クリエイター支援センター) 【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へんてこいきものパーク」子どもワークショップ ・FLASHアニメーションワークショップ ・DESIGN WORKSHOP ITARIA×SHIZUOKA <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のCMフェスティバル ・しりあがり寿の「どこまでやるら」 ・NCC Shizuoka (継続開催中) <p>(今後の予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡の「あれこれ」を勝手にプロデュース (企画展) ・DOTMOV FESTIVAL2014 	
						補足事項	進捗率等
				H27.3.31 現在	(セミナー等開催数) H24 / 5回 H25 / 4回 H26 / 4回 計 / 14回	155.6 (%)	
	成果目標	セミナー等開催数 9回/3年		事業評価	<p>(静岡市クリエイター支援センター) 【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「へんてこいきものパーク」子どもワークショップ ・FLASHアニメーションワークショップ ・DESIGN WORKSHOP ITARIA×SHIZUOKA <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界のCMフェスティバル ・しりあがり寿の「どこまでやるら」 ・NCC Shizuoka ・静岡の「あれこれ」を勝手にプロデュース (企画展) ・DOTMOV FESTIVAL2014 		
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針					
		大施策					
		中施策					
産業振興プラン位置付け	基本方向		<p>次年度に向けた改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標の未達成理由等 				
	基本方針						
	基本施策						
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 45	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度				
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (特産品東京展示会)		予算額	4,640 千円			
				決算額	4,640 千円			
	事業概要	首都圏において、本市の特産品展示販売及び実演等を実施し、本市の地場産業のPRを行います。		取組状況 H26.9.1 現在	■10月15日～17日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を予定している。今年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、市内で活躍する若手職人にスポットをあてた展示も企画している。その他、静岡市ブランド認証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も予定している。			
		補足事項			進捗率 H26.9.1 現在			
			H27.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 H26 / 1回 計 / 3回		50 (%)		
	成果目標	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブランドの創出・認知度の強化						
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業結果	■10月15日～17日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を行った。今年も例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品だけでなく、市内で活躍する若手職人にスポットをあてた「若手職人展」も実施した。その他、静岡市ブランド認証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も実施した。		
		大施策				期間中の来場者数 約12,600人 期間中の売上額 約5,452千円		
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向	2 生活の質を高める産業の振興		事業評価等 (事務担当)記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項				
	基本方針	(1)マーケットを重視した事業展開の促進						
	基本施策	③販路開拓支援						
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		事業担当 (記載事項) 改善点・ 目標の未達成理由等	会場について、都内での会場変更や首都圏以外での開催について意見があるが、 ・固定客があり、来場者、売上げ等において効果が出ていること、 ・出展者アンケートにおいて現会場が支持されていること、 ・シティプロモーションを兼ねており、通行量が多い同会場は効果的であることから、当面は同会場を使用していく。				
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 地場産業係							

事業 46	ものづくり基本計画	(方針 5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (ホビーのまち)		予算額	0千円		
				決算見込額	0千円		
	事業概要	「ホビーのまち静岡」を首都圏等 に向け発信することにより、静岡市の ブランド力を高め、更なる購買層 の拡大と業界振興につなげます。		取組 状況	H26.9.1 現在	下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。 名称:ホビーのまち静岡in東京シティアイ 期間:平成26年5月3日～6日(4日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:東京シティアイ自主企画イベントに静岡市が開催協力し、現地でPR を行った。 来場客数:29,168人	
		補足 事項		進捗 率	H26.9.1 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 H26 / 1回 計 / 3回 (実施回数) 100.0 (%)	
				H27.3.31 現在	(実施回数) H24 / 1回 H25 / 1回 H26 / 2回 計 / 4回 (実施回数) 133.3 (%)		
	成果目標	PR事業の強化 3回/3年		事業 結果	下記のとおり首都圏においてプロモーションイベントを開催した。 ■第1回目 名称:ホビーのまち静岡in東京シティアイ 期間:平成26年5月3日～6日(4日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:東京シティアイ自主企画イベントに静岡市が開催協力し、現地でPR を行った。 来場客数:29,168人 ■第2回目 名称:まるちゃんの静岡音頭と模型がお出迎え!静岡市観光キャンペーン 期間:平成26年11月21日～22日(2日間) 会場:東京丸の内KITTE地下1階 東京シティアイイベントスペース 概要:観光シティアイプロモーション課との合同開催。現地でPRを行った。 来場客数:9,308人		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			事 業 評 価 等		
		大 施策					
		中 施策					
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興	事 業 評 価 等	(事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項			
	基本 方針	(1)マーケットを重視した事業展 開の促進					
	基本 施策	③販路開拓支援					
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 工業振興係		事 業 評 価 等	(事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等			
事業 担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係				イベントスペース管理会社や関連部署の多大なる御協力により、首都圏に おけるプロモーションを試験的に実施することができ、多くの来場者にホビー のまち静岡を周知することができた。来年度以降は本プロモーションに対す る予算化を行い、より強力なPRが展開できるよう検討していく。また、PR先が 固定しないよう、毎年実施場所を広く探していく。		

事業 47	ものづくり基本計画	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度		
	事業名	静岡市ブランド認証制度の拡充	予算額	2,389 千円		
			決算見込額	1,321 千円		
	事業概要	本市ならではの魅力ある商品や製品を静岡市ブランドとして認証し、広くPRすることで、本市の認知度を高めシティプロモーションの推進を図ります。また、これを機に新たな商品や製品の開発を促進するなどの拡充に取り組みます。		取組状況 H26.9.1 現在	■新規認証関係 ※新規認証実施せず ■展示販売関係 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 8月29日～9月4日	
		補足事項			H26.9.1 現在	(認証品数) H26 / 0品 (展示即売会数) 1回
				H27.3.31 現在	(認証品数) H24 / 10品 H25 / 14品 H26 / 0品 計 / 24品 (展示即売会数) H24 / 5回 H25 / 6回 H26 / 12回 計 / 23回	(認証品数) 120.0 (展示即売会数) 153.3 (%)
	成果目標	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充		事業結果	■新規認証関係 ※新規認証実施せず。 ■展示販売関係 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月13日～19日 ・静岡あさひテレビ祭り 9月27日～28日 ・静岡市の特産品 東京展示会 10月15日～17日 ・東京丸の内「KITTE」 11月21日～22日 ・産業フェア 12月6日～7日 ・静岡市交流会in東京 12月17日 ・JR秋葉原駅高架下「ちゃばら」日本百貨店 12月21日～27日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」 1月22日～2月3日	
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造の知的高度化			
		大施策	(2) 地域産業の活力強化			
		中施策	②地域資源を活用したブランドの構築・強化			
産業振興のプラン位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興		事業評価等 (事務担当)記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項		
	基本方針	(2) 全国・海外への積極的なプロモーション展開				
	基本施策	①市民が誇れる静岡ブランドの確立				
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 産業振興係		事業担当記載事項 改善点 ・ 目標の未達成理由等	■当座は新規の認証を控え、既存の認証品の販路開拓支援を中心とするため、販売チャネルを持った専門家を委員として招聘し、委員会を開催している。		
事業担当課等	経済局商工部 産業振興課 産業振興係					

事業 48	ものづくり基本計画	(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11) ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度				
	事業名	市民向けものづくり体験・学習イベントの開催		予算額	6,100 千円			
				決算見込額	6,163 千円			
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、広く市民に向けて市内のものづくり産業に関する学習機会として、体験型等のイベントを開催します。		取組状況 H26.9.1 現在	<p>■平成26年度地場産品体験学習事業実績</p> <p>市内の小学校4年生が社会科事業の一環として「駿府匠宿」で創作体験する場合申請によりその利用に要する費用の一部を市が支援している。補助金額は児童一人最大1,740円、現在46校の申請があり、10月以降実施。</p> <p>■さらなる市民向けものづくり体験の機会としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業フェアしずおか2014で駿府匠宿がサンドプラスト等の体験コーナーを実施予定。(産業フェア:12月) ・市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けものづくり体験型のイベントが開催予定。(ぬりものまつり:10月) 			
		補足事項			H26.9.1 現在			(%)
				H27.3.31 現在	(イベント参加者数) H24 / 83人 H25 / 491人 H26 / 447人 計 / 1,021人	(イベント参加者数)	340.3 (%)	
	成果目標	参加者 300人/3年		事業結果	<p>■平成26年度地場産品体験学習事業実績</p> <p>参加学校数:46校、参加児童数:3,605人 例年通り、小学校の授業を通して、子供たちにもものづくりに対する関心と理解を深めることができた。</p> <p>■さらなる市民向けものづくり体験の機会としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業フェアしずおか2014で駿府匠宿がサンドプラスト等の体験コーナーを実施した。(参加者数)183人 ・市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けものづくり体験型のイベントが開催された。(参加者数)264人 			
	総合計画の位置付け(分野別)	政策方針			事業評価等			
		大施策						
		中施策						
産業振興のプラン位置付け	基本方向		(事務担当) 記載項目 所属部会からの意見及び指摘事項					
	基本方針							
	基本施策							
所属部会	<p>■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</p> <p>■事務担当 産業経営担当</p>		(事業担当) 記載事項 改善点・目標の未達成理由等	<p>小学4年生を対象とした体験学習事業については、小学生の体験で終わることなく、中学生、高校生につながるようなシステムが必要。</p> <p>市民向けものづくり体験については、PR方法を工夫し、より多くの方が伝統工芸に触れる機会を創出していく。</p>				
事業担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業係</p>							

ものづくり基本計画		(方針 5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策 11) ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成26年度			
事業名	ものづくり現場企業見学会の開催	予算額	0千円				
		決算見込額	0千円				
事業概要	市内ものづくり事業者等の協力の もと、市民が市内におけるものづく り現場を見学する機会を通じて、も のづくり産業への理解促進に取り組 みます。		取組 状況	9.1 現在	<p>■工場見学会に関する問合せ 今年度は、市内の各団体などから、工場見学を希望しているが、 どのように申し込んでよいのかという問い合わせが多数あった。 ※問合せ概要 ・見学希望先 大手工場及び一部の中小製造事業所 ・人数等 10人(1団体)、20人程度(2団体) 40人以上(2団体)</p> <p>■問合せを踏まえた対応 今年度は、当該が工場見学を主催するよりも、工場見学に対する 関心の高まりを踏まえ、問合せ団体等と事業者をつなぐ役割に専念 した。</p>		
	補足 事項		進捗 率	9.1 現在	(参加者数)	(%)	
				3.31 現在	(参加者数) H24 / 0人 H25 / 42人 H26 / 80人 計 / 122人	40.7 (%)	
成果目標	参加者 300人/3年		事業 結果	<p>■開催時期など ①時 期 9月中下旬、11月中旬 ②見 学 先 電気機械器具製造事業所(駿河区、清水区) 中小製造事業所(清水区) ③参加人数 電気機械器具製造事業所 70人 中小製造事業所 10人</p> <p>■概要 今回の見学会は、第一線を退いた60歳代以上の方々で構成する 団体などが、地元を見つめ直す機会として、優れたものづくり産業 を知りたいとの申し出に基づくものである。 当該からは、団体が希望する事業所や開催日時などを確認すると ともに、事業所にその旨をお伝えし、対応を依頼した。</p>			
総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			事 業 評 価 等	<p>(事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項</p> <p>■特になし</p>		
	大 施策						
	中 施策						
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向		事 業 評 価 等	<p>(事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p> <p>■今後の見学会開催について 製造業を営む工場見学に関しては、問合せ件数などから、市民の 関心は若干ではあるものの、高まりを見せている。こうしたことか ら、今後は事業として取組むのではなく、問合せへの対応を充実さ せていきたい。</p>			
	基本 方針						
	基本 施策						
所属部会			事 業 評 価 等	<p>(事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等</p> <p>■今後の見学会開催について 製造業を営む工場見学に関しては、問合せ件数などから、市民の 関心は若干ではあるものの、高まりを見せている。こうしたことか ら、今後は事業として取組むのではなく、問合せへの対応を充実さ せていきたい。</p>			
事業 担当課等	経済局商工部 産業振興課 総務係						